

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下	-	2m 以下
	125A以上	-	3m以下
ビニル管	80A以下	-	1m 以下
	100A以上	-	2m以下

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
	鋼管	-	125A~
鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準とする。
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

矩形ダクト 垂鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
 ステンレス鋼板 JIS G4305

工法 アングルフランジ工法
 共板フランジ工法
 スライドオンフランジ工法

形鋼補強 山形鋼 JIS G 3101 SUS鋼材 JIS G 4317

丸ダクト スパイラルダクト
 下水通利サイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。

<input type="checkbox"/> グラスウール保温材 (屋内一般等)	保温板、保温筒、保温帯 JIS A 9504 40K
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 消火管 (露出部)
<input type="checkbox"/> 蒸気管 (往)	<input type="checkbox"/> 蒸気管 (還) <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷媒管
(屋外等)	
<input type="checkbox"/> 給湯管 (70℃以上)	<input type="checkbox"/> 温水管 <input type="checkbox"/> 蒸気管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/> ロックウール保温材 (防火区画貫通部等)	保温板 JIS A 9504 1号又は2号
<input type="checkbox"/> 給水管	保温帯、ブランケット JIS A 9504 1号
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷媒管 <input type="checkbox"/> 消火管

<input type="checkbox"/> ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等)	保温板、保温筒 JIS A 9511 3号
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷水管 (2~4℃)
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
(屋外等)	
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> 消火管 <input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/> 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 (露出)	JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 通気管 <input type="checkbox"/> ドレン管
<input type="checkbox"/> ガス管	<input type="checkbox"/> 消火管 <input type="checkbox"/> 油管 <input type="checkbox"/> 冷却水管
<input type="checkbox"/> ダクト (垂鉛鉄板製)	<input type="checkbox"/> ダクト (鋼板製)

<input type="checkbox"/> さび止めペイント塗り塗料 (露出)	JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種
<input type="checkbox"/> 蒸気管 (往)	<input type="checkbox"/> ダクト (鋼板製)

<input type="checkbox"/> アルミニウムペイント塗り塗料 (下塗りは錆止めペイント)	JIS K 5492 (アルミニウムペイント)
<input type="checkbox"/> 蒸気管 (還)	

2) 保温厚

グラスウール、ロックウール						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-	
膨張・温水・消火管	-	-	-	-	-	
蒸気管	~25A	-	32~50A	65A~	-	
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~	

ポリスチレンフォーム						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	25mm	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチチャンパー、貯湯タンク類冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー排気筒隠蔽部 (ロックウール)	
75mm	煙道 (ロックウール)	

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様				
	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	アルミ化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法: 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)				
	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙
天井内・P S内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス仕上
(温水・蒸気管以外)				アルミガラスクロス仕上
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
 保温化粧ケース仕上 ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様				
	1	2	3	4
冷水・冷温水タンク	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線
鋼板製タンク				SUS鋼板仕上
冷水・冷温水ヘッダ				カラー垂鉛鉄板 (屋内)
温水・膨張・還水貯湯タンク	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上
温水・蒸気ヘッダ				カラー垂鉛鉄板 (屋内)

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様				
	1	2	3	4
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板
	機械室			カラー鉄板
屋内隠蔽、多湿箇所	屋内露出		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板
	屋内隠蔽、多湿箇所			アルミガラスクロス化粧保温板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線
	屋内隠蔽、多湿箇所			カラー鉄板
サブライチチャンパー	屋内露出	一般・廊下	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、多湿箇所			アルミガラスクロス化粧保温帯
消音チャンパー、エルボ	屋内露出	保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム
	屋内隠蔽			鉄線
排煙ダクト長方形	屋内露出	保温板	ガラスクロス	鋼亀甲金網
	屋内隠蔽			鋼亀甲金網
排煙ダクト円形	屋内露出	保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム
	屋内隠蔽			鉄線
煙道	屋内露出	保温帯	鉄線	カラー鉄板
	屋内隠蔽			カラー鉄板

※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温帯、保温筒、1号を使用。
※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による垂鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWAS02による防錆処理を施した平ラS0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 鋼亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様					
機材	状態	塗料の種類	塗り回数		備考
			下塗り	中塗り 上塗り	
白管	露出	合成樹脂調合ペイント	1	1	1
黒管	露出	合成樹脂調合ペイント	2	1	1

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りをを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲				
1. S A	<input type="checkbox"/> 保温あり	<input type="checkbox"/> 保温なし	<input type="checkbox"/> 図面による	<input type="checkbox"/> その他 ()
2. E A	<input type="checkbox"/> 保温あり	<input type="checkbox"/> 保温なし	<input type="checkbox"/> 図面による	<input type="checkbox"/> その他 ()
3. R A	<input type="checkbox"/> 保温あり	<input type="checkbox"/> 保温なし	<input type="checkbox"/> 図面による	<input type="checkbox"/> その他 ()
4. O A	<input type="checkbox"/> 保温あり	<input type="checkbox"/> 保温なし	<input type="checkbox"/> 図面による	<input type="checkbox"/> その他 ()
チャンパー内貼施工	<input type="checkbox"/> 内貼あり (mm)	<input type="checkbox"/> 内貼なし	<input type="checkbox"/> 図面による	<input type="checkbox"/> その他 ()

(4) スリーブ工事

- 1 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (臭管ダクト) とする。
- 2 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
- 3 その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

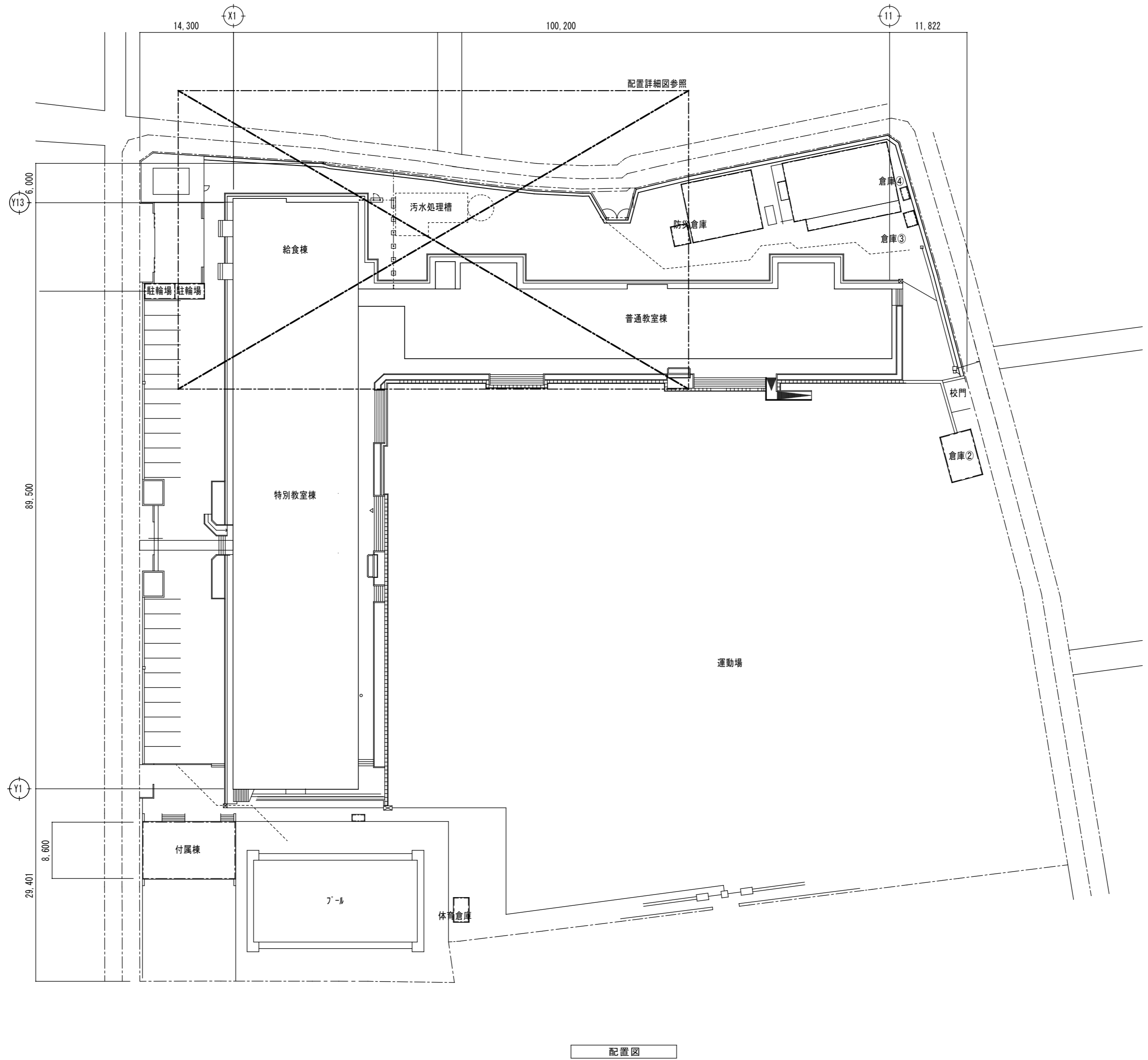
- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあつてはアンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 雨がかり部に取付けるガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもち、かつ、
・ 接続箇所は必要に応じてコンクリートで保護する。
・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
・ 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 17) 送風機用ベルトカバーには裏カバー及び点検口を設けること。

[原図A2]

■ : NOTE

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号

Job Title	津市立育生小学校長寿命化改修工事			DATE
Drawing Title	機械設備工事特記仕様書02			SCALE
設計担当				A2: 1/NS A3: 1/NS
多湖 弘樹				M-02
一級建築士 第382361号				



配置図

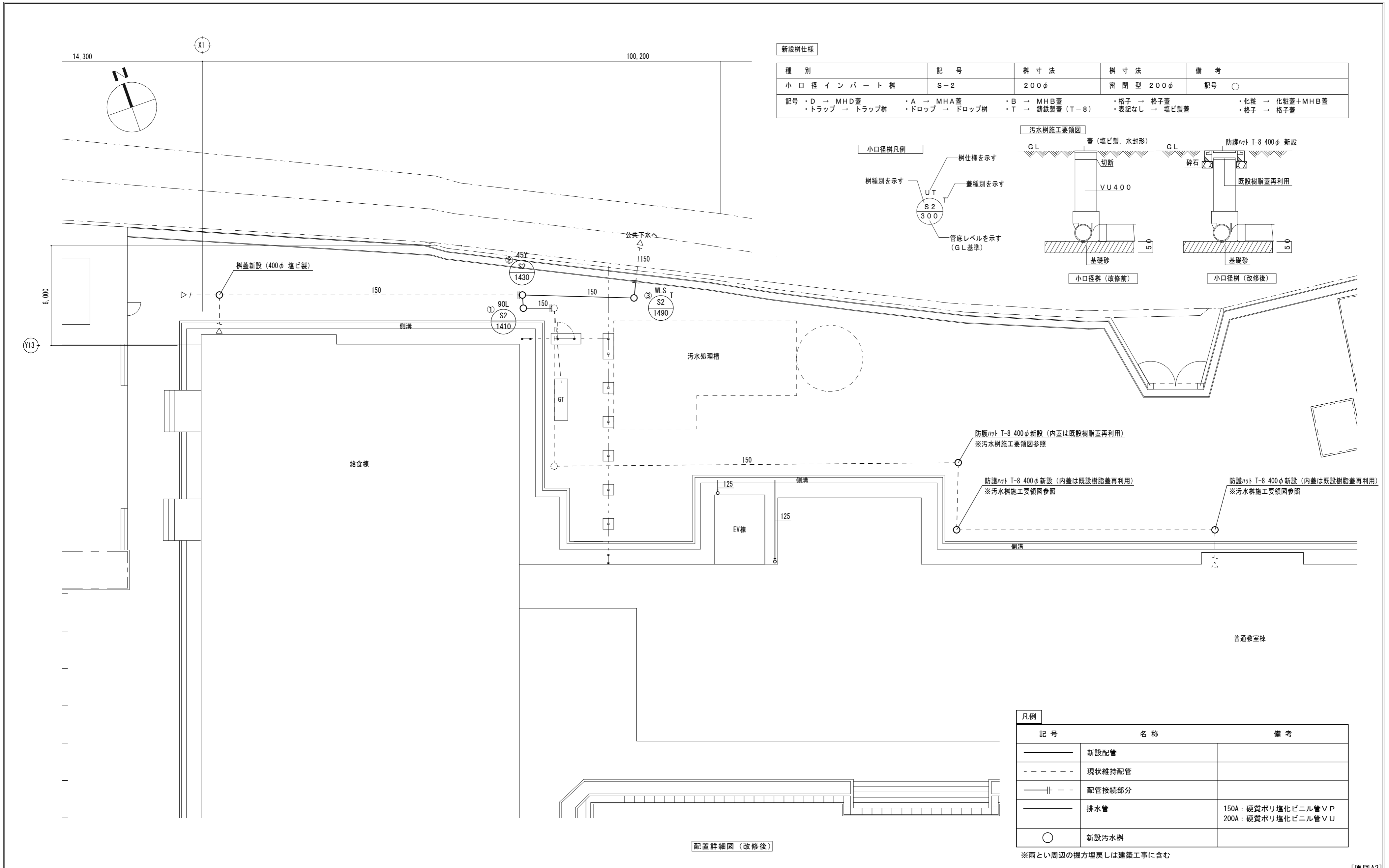
[原図A2]

■ : NOTE

NISSHIN
SEKKEI
目新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

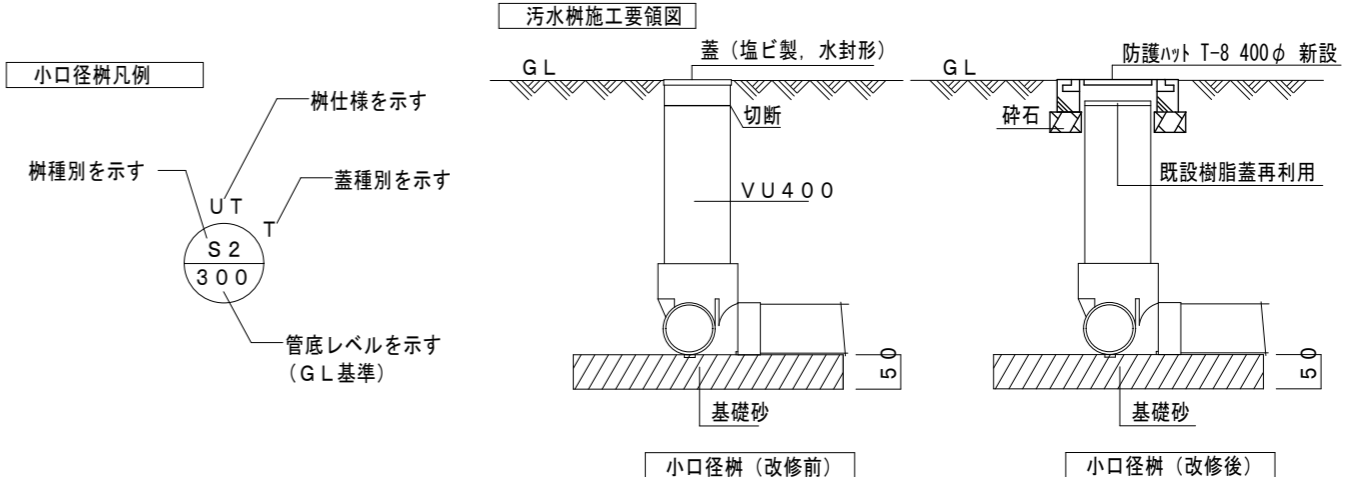
Job Title		津市立育生小学校長寿命化改修工事	
Drawing Title		配置図	
Design Responsibility		設計担当	
Designer		多湖 弘樹	
Professional License		一級建築士 第382361号	

DATE
SCALE
A2: 1/500 A3: 1/700
M-03



新設樹仕様

種別	記号	樹寸法	樹寸法	備考
小口径インバート樹	S-2	200φ	密閉型 200φ	記号 ○
記号	D → MHD蓋 トラップ → トラップ樹	A → MHA蓋 ドロップ → ドロップ樹	B → MHB蓋 T → 鋼鉄製蓋 (T-8)	格子 → 格子蓋 表記なし → 塩ビ製蓋 化粧 → 化粧蓋+MHB蓋 格子 → 格子蓋



汚水処理槽

給食棟

EV棟

普通教室棟

配置詳細図 (改修後)

防護ハット T-8 400φ新設 (内蓋は既設樹脂蓋再利用)
※汚水樹施工要領図参照

凡例

記号	名称	備考
—	新設配管	
- - -	現状維持配管	
— —	配管接続部分	
—	排水管	150A: 硬質ポリ塩化ビニル管VP 200A: 硬質ポリ塩化ビニル管VU
○	新設汚水樹	

※雨とい周辺の掘方埋戻しは建築工事に含む

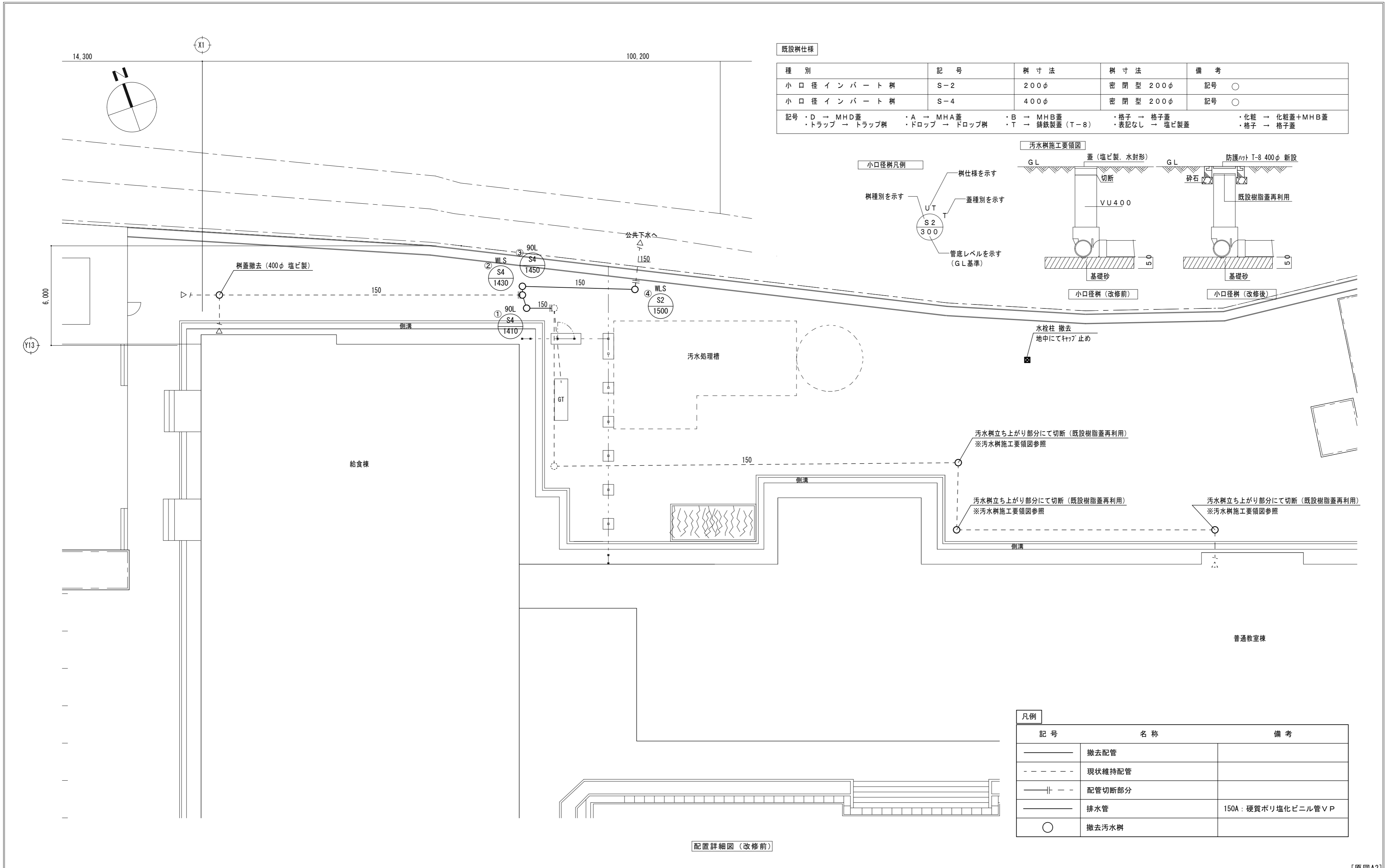
[原図A2]

■: NOTE

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

Job Title	津市立育生小学校長寿命化改修工事	DATE	
Drawing Title	配置詳細図 (改修後)	SCALE	A2: 1/150 A3: 1/210
	設計担当		
多湖 弘樹			
一級建築士 第382361号			

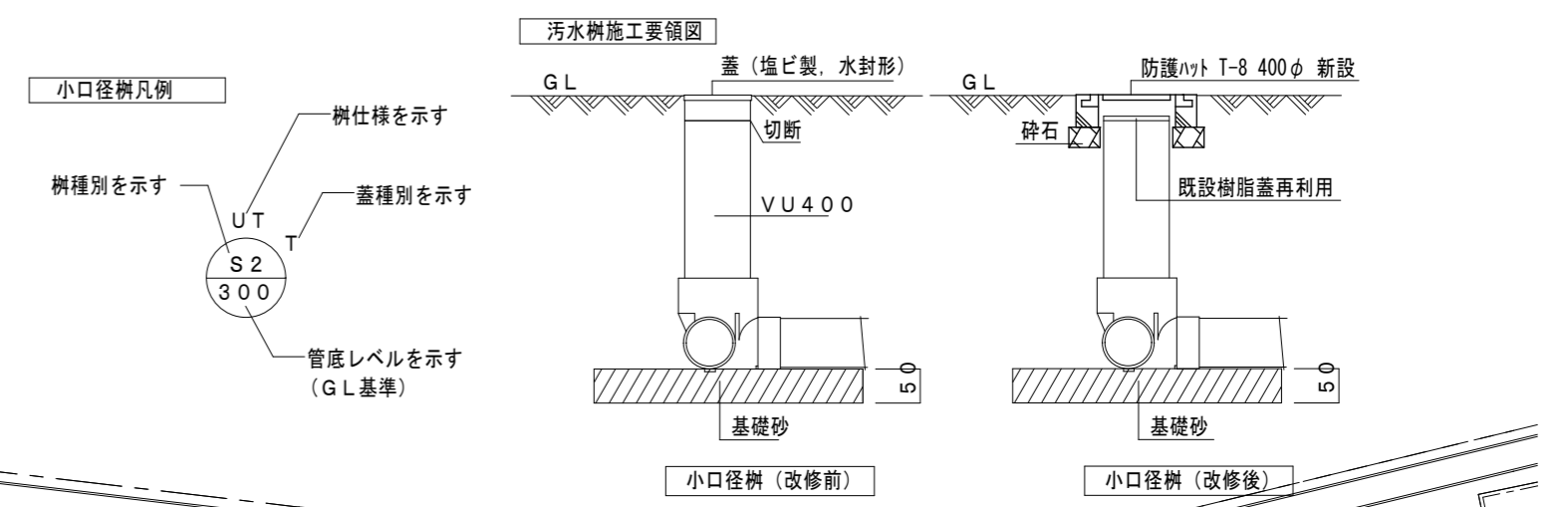
M-04



既設樹仕様

種別	記号	樹寸法	樹寸法	備考
小口径インバート樹	S-2	200φ	密閉型 200φ	記号 ○
小口径インバート樹	S-4	400φ	密閉型 200φ	記号 ○

記号 ・D → MHD蓋 ・A → MHA蓋 ・B → MHB蓋 ・格子 → 格子蓋 ・化粧 → 化粧蓋+MHB蓋
 ・トラップ → トラップ樹 ・ドロッ → ドロップ樹 ・T → 錆鉄製蓋 (T-8) ・表記なし → 塩ビ製蓋 ・格子 → 格子蓋



汚水樹立ち上がり部分にて切断 (既設樹脂蓋再利用)
 ※汚水樹施工要領図参照

汚水樹立ち上がり部分にて切断 (既設樹脂蓋再利用)
 ※汚水樹施工要領図参照

汚水樹立ち上がり部分にて切断 (既設樹脂蓋再利用)
 ※汚水樹施工要領図参照

配置詳細図 (改修前)

凡例

記号	名称	備考
—	撤去配管	
- - -	現状維持配管	
- -	配管切断部分	
—	排水管	150A: 硬質ポリ塩化ビニル管 V P
○	撤去汚水樹	

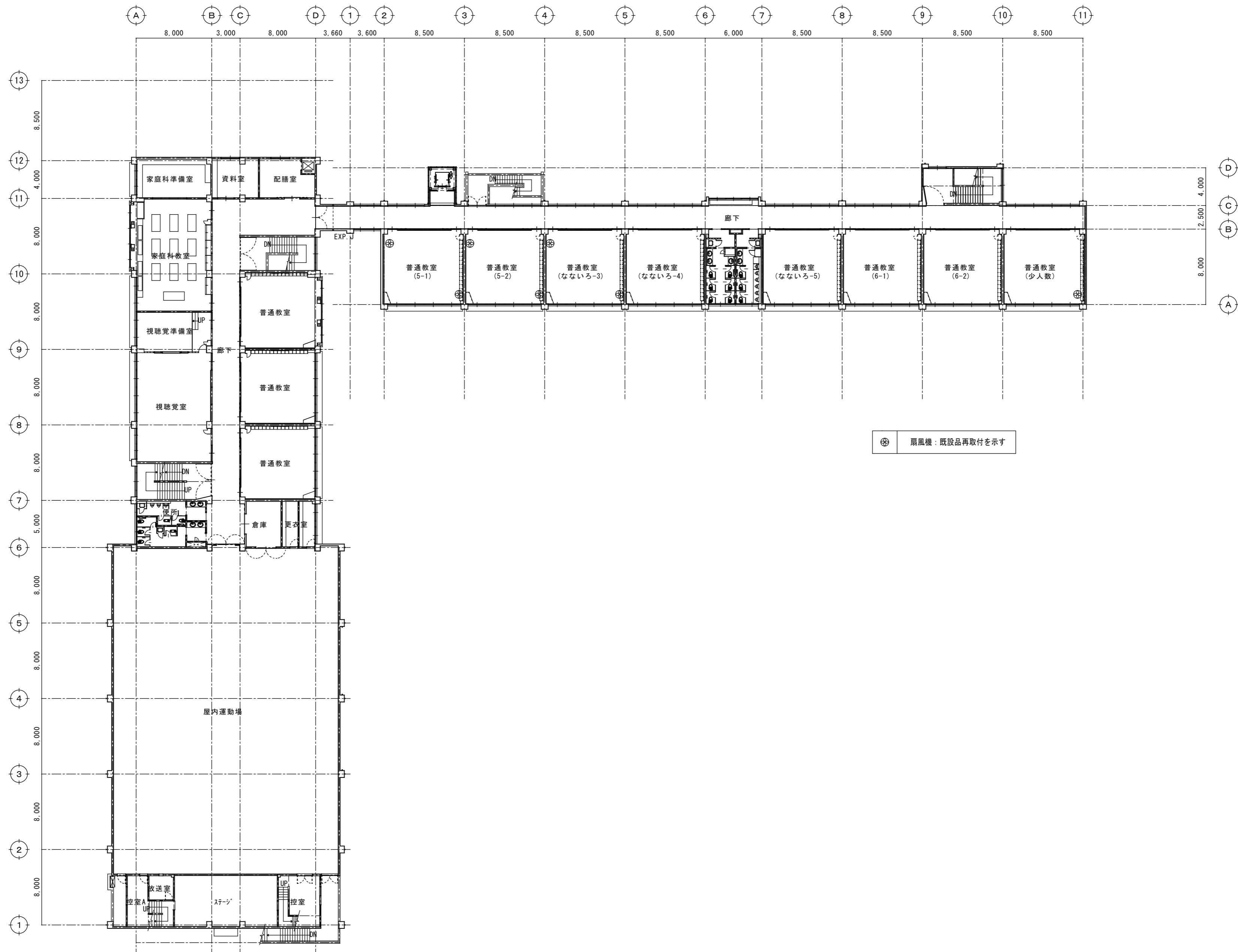
■ : NOTE

NISSHIN
SEKKEI
 日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

Job Title	津市立育生小学校長寿命化改修工事
Drawing Title	配置詳細図 (改修前)
設計担当	多湖 弘樹 一級建築士 第382361号

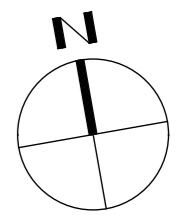
DATE	
SCALE	A2: 1/150 A3: 1/210
M-05	

[原図A2]



⊗ 扇風機：既設品再取付を示す

3階平面図(改修後)



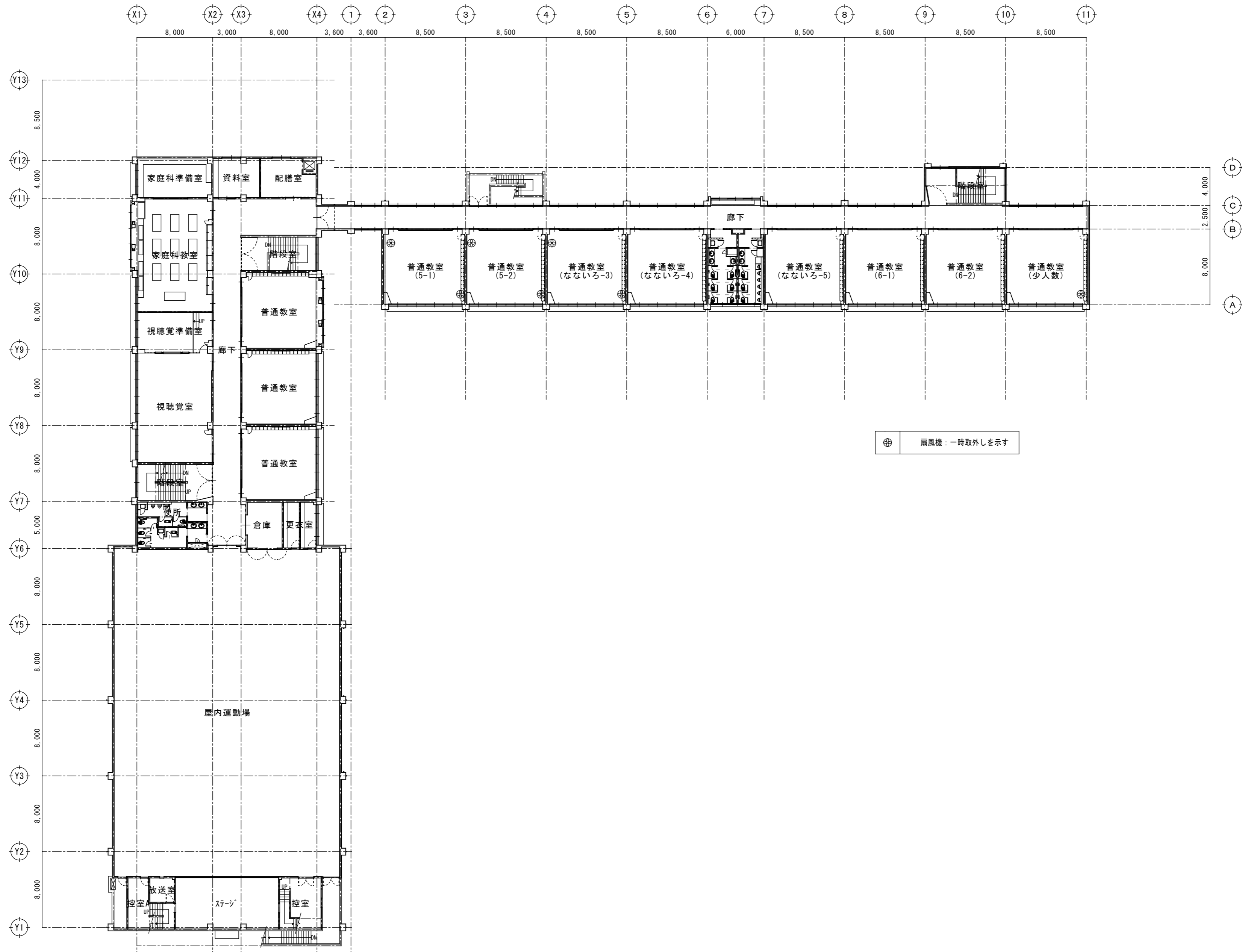
[原図A2]

■ : NOTE

NISSHIN
SEKKEI
 日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

Job Title 津市立育生小学校長寿命化改修工事		DATE
Drawing Title 3階平面図(改修後)		SCALE A2:1/300 A3:1/420
多湖 弘樹 一級建築士 第382361号	設計担当	

M-06



3階平面図(改修前)

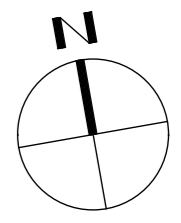
[原図A2]

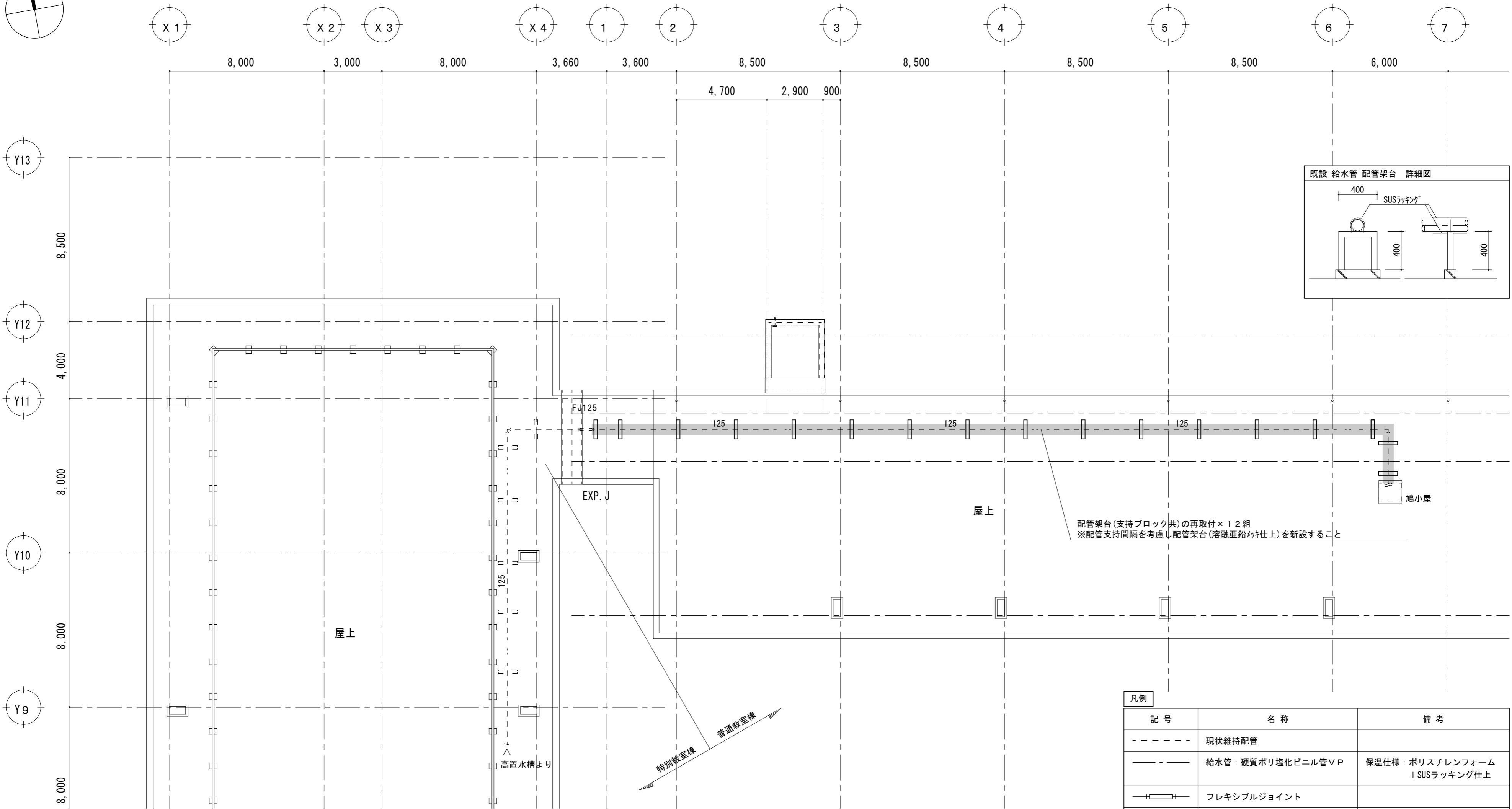
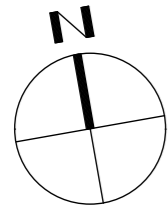
■ : NOTE

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

Job Title	津市立育生小学校長寿命化改修工事
Drawing Title	3階平面図(改修前)
Design Responsibility	多湖 弘樹 一級建築士 第382361号

DATE	
SCALE	A2: 1/300 A3: 1/420
M-07	





配管架台(支持ブロック共)の再取付×12組
 ※配管支持間隔を考慮し配管架台(溶融垂鉛付仕上)を新設すること

凡例		
記号	名称	備考
---	現状維持配管	
---	給水管: 硬質ポリ塩化ビニル管VP	保温仕様: ポリスチレンフォーム + SUSラッキング仕上
— —	フレキシブルジョイント	
□	配管架台	

凡例
 ■ : SUSラッキング新設範囲

R階平面図(改修後)

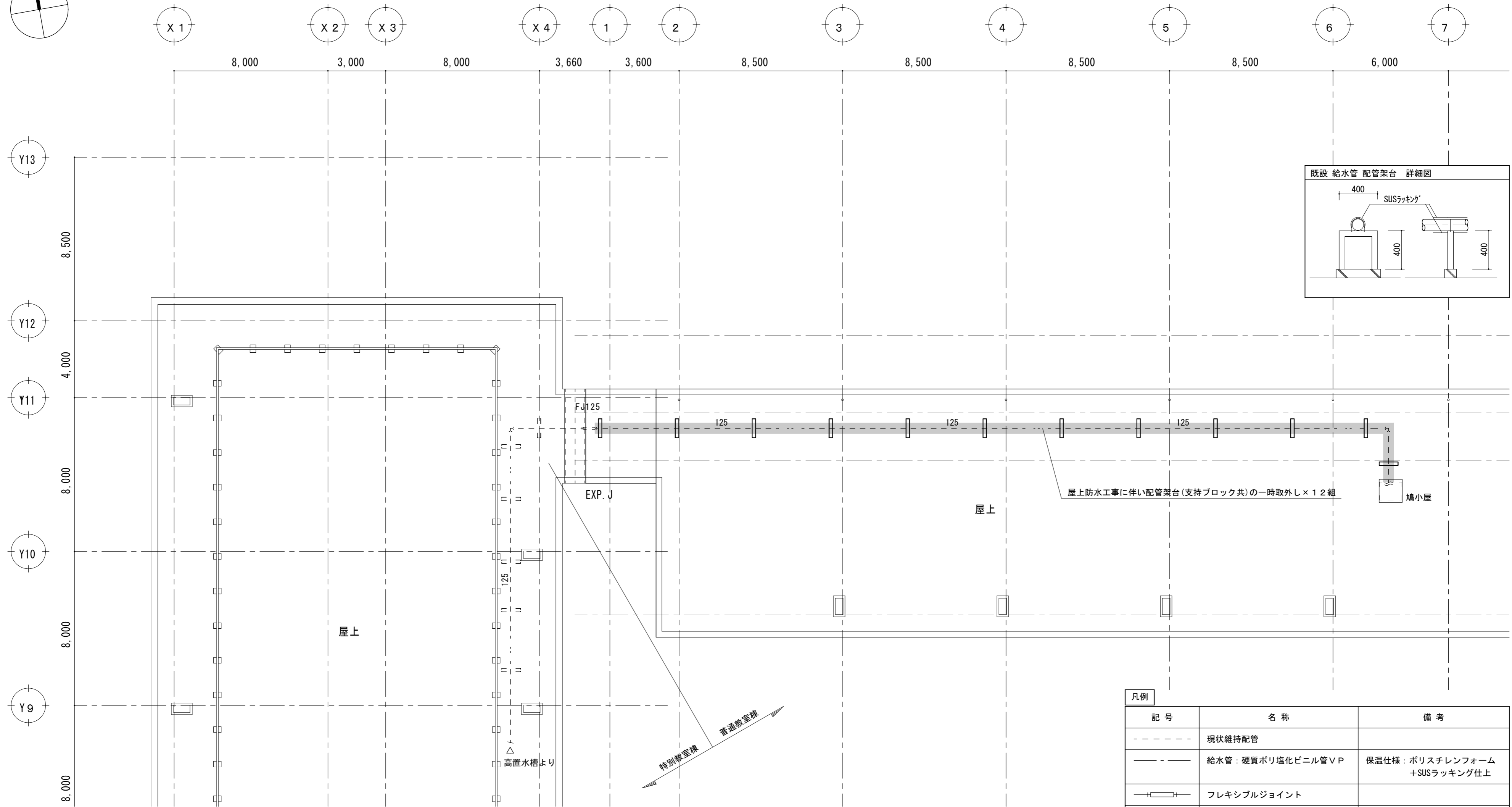
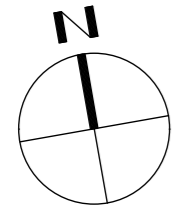
[原図A2]

■ : NOTE

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

Job Title	津市立育生小学校長寿命化改修工事
Drawing Title	R階平面図(改修後)
設計担当	多湖 弘樹 一級建築士 第382361号

DATE	
SCALE	A2:1/150 A3:1/210
M-08	



記号	名称	備考
---	現状維持配管	
---	給水管: 硬質ポリ塩化ビニル管VP	保温仕様: ポリスチレンフォーム + SUSラッキング仕上
—+—	フレキシブルジョイント	
□	配管架台	

凡例
 : SUSラッキング撤去範囲

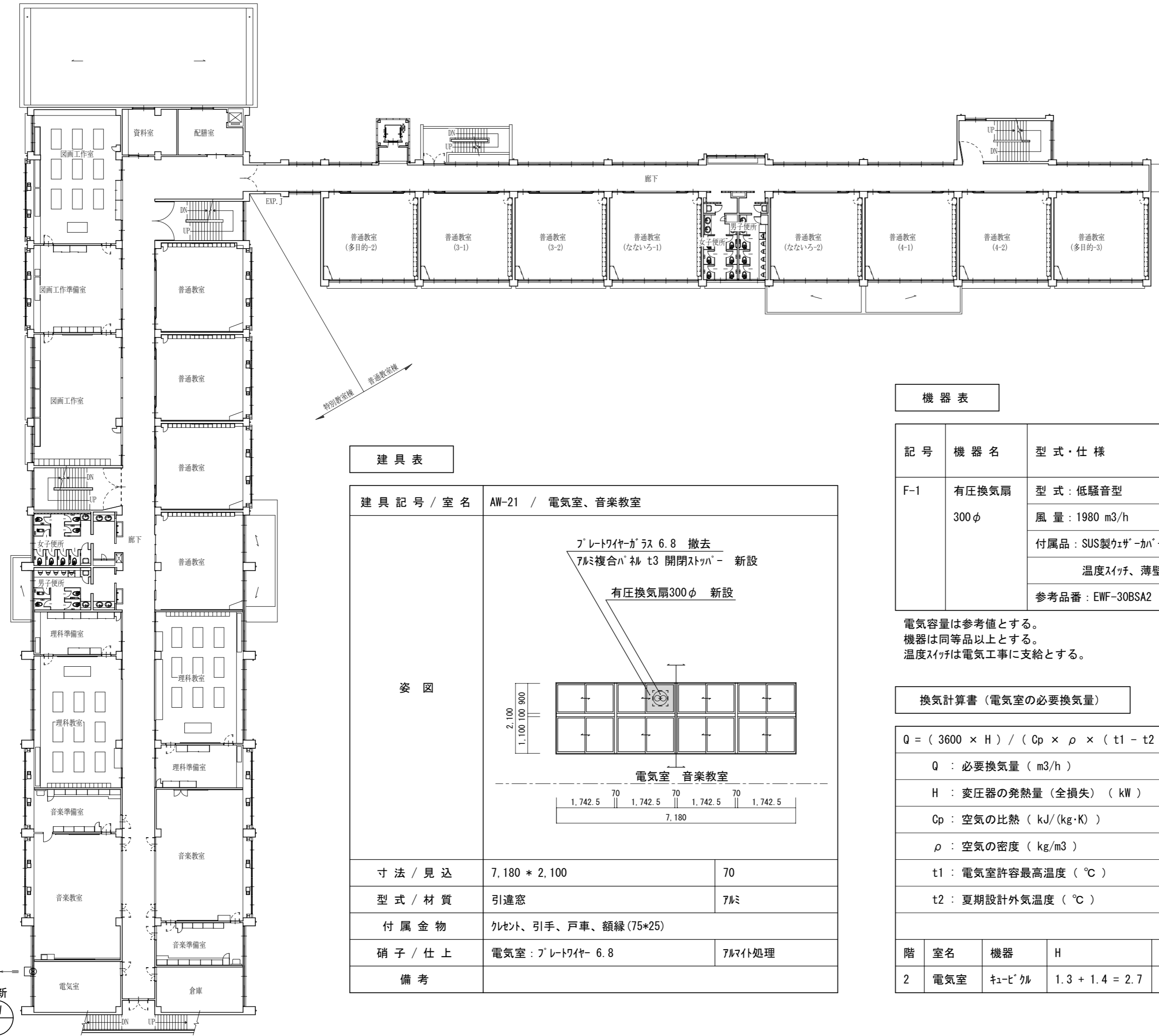
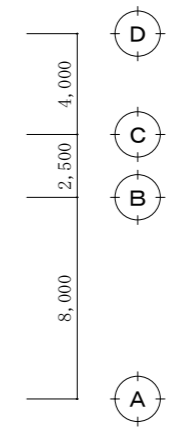
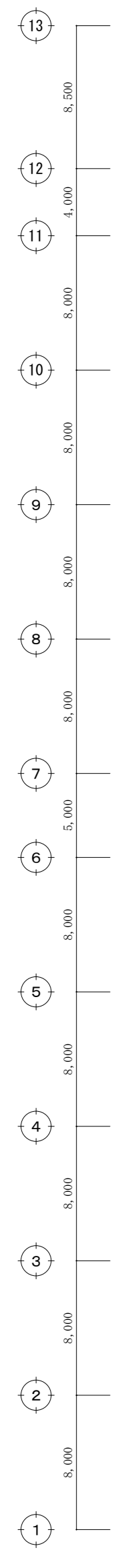
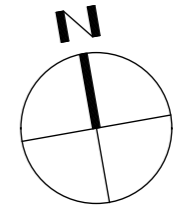
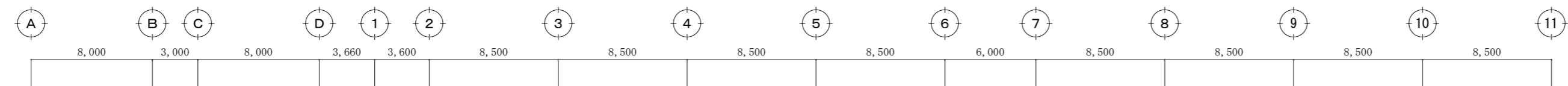
R階平面図(改修前)

[原図A2]

■ : NOTE

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

Job Title		津市立育生小学校長寿命化改修工事		DATE
Drawing Title		R階平面図(改修前)		SCALE
		設計担当		A2: 1/150 A3: 1/210
多湖 弘樹				M-09
一級建築士 第382361号				



建具表

建具記号 / 室名	AW-21 / 電気室、音楽教室	
姿図	プレートワイヤーガラス 6.8 撤去 7mm複合ハル t3 開閉ストッパ 新設 有圧換気扇300φ 新設	
寸法 / 見込	7,180 * 2,100	70
型式 / 材質	引違窓	7mm
付属金物	クレント、引手、戸車、額縁(75*25)	
硝子 / 仕上	電気室: プレートワイヤ- 6.8	7mm処理
備考		

機器表

記号	機器名	型式・仕様	電気容量		数	室名
			電源	消費電力		
F-1	有圧換気扇 300φ	型式: 低騒音型	単相 100 V	65 W	1	電気室
		風量: 1980 m3/h				
		付属品: SUS製ウェザ-カバー(防鳥網付)、電動シャッター、屋内側保護網				
		温度スイッチ、薄壁取付枠、他付属品一式				
		参考品番: EWF-30BSA2 (三菱)				

電気容量は参考値とする。
 機器は同等品以上とする。
 温度スイッチは電気工事に支給とする。

換気計算書 (電気室の必要換気量)

$Q = (3600 \times H) / (Cp \times \rho \times (t1 - t2))$

Q : 必要換気量 (m3/h)

H : 変圧器の発熱量 (全損失) (kW)

Cp : 空気の比熱 (kJ/(kg·K))

ρ : 空気の密度 (kg/m3)

t1 : 電気室許容最高温度 (°C)

t2 : 夏期設計外気温度 (°C)

階	室名	機器	H	Cp	ρ	t1	t2	Q	備考
2	電気室	キュービクル	1.3 + 1.4 = 2.7	1.0	1.2	40.0	34.5	1473	1473 ≤ 1980 よってOK

除外工事事項

建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
(昇降路壁は5cm² 辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること)
- 鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム (必要の場合) 並びにシキイ受材の設置工事
- 鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
- 鉄骨構造階の敷居取付材設置工事 (敷居への作用荷重に對して、たわみは1mm以下となる部材を設置すること)
- 鉄骨構造階の昇降路における鉄骨材の耐火処理工事および乗場出入口廻りの耐火処理工事
- 各階乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事
- 乗場機器取付け後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器搬重用ビームの設置工事
- ビット内防水仕上工事 (必要時は、排水設備工事含む)
- 昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行ってください
(別添例1) 昇降路の壁 (RC) を厚くする
※ (200mm以上推奨)
(別添例2) 隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁 (RC) に直接接しない工法とする
(別添例3) 隣接居室内のボードに制振材 (鉛板)、吸音材を貼付けする
- その他建築に関する工事

設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事 (盤ぎ込み工事含む)
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事 (φ90×10本) /台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドアを採用の場合、遮煙ドア設置階乗降口ビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事 (昇降路内から最寄の電話中継盤まで)
- 建設設備運動に必要な接点供給工事
- ビット内点検用コンセント設備工事 (照明用AC100Vとは別系統のこと)
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事 (外部より点検可能なこと)
平成20年国土交通省告示第1454号第一号より点検口の戸は錠付 (工具を必要とするネジでも可) とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事 (非常放送がある場合3線式とすること)
- 昇降路の換気設備工事 (平成12年建設省告示1413号第1第三号二により昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があります)
発熱量 エレベーター駆動部 (875W/1台)
- 監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事

仮設工事関係

- つぎの事項について、弊社で用意する場合は別途見積となります
- 据付工事用現場詰および材料置場
 - 据付工事用および試運転調整用電力、セメント、小石等
 - 据付工事用の仮設電源 (本設電源と同じ電源仕様にて支給願います)
重量物の搬入に支障のない通路の確保
 - 重量物の搬入横引き距離は30m以内とする
 - エレベーターシャフトが隣接する場合の落下物防止区画対策・安全対策 (ネット等)
 - 安全柵の先行取り付け
*着工前、先行で取り付けた安全柵の管理も含む
 - 展望用エレベーターの場合の施工時のガラス部分養生

注意事項

- 昇降路開口・実行寸法は、昇降路全域 (ビット底部から昇降路頂部まで) にわたり確保のこと
- コンクリート強度は21N/mm² 以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%~-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件とすること
(1) 昇降路内の温度は-5℃~40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと
(2) 金属を消耗または腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと
①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アンモニアガスおよび海岸地区における潮風
※昇降路標準環境の基準例
硫化水素ガス・・・H2S=0.005 [ppm] 以下
亜硫酸ガス・・・SO2=0.01 [ppm] 以下
塩化水素ガス・・・HCl=0.05 [ppm] 以下
塩素ガス・・・Cl2=0.005 [ppm] 以下
アンモニアガス・・・NH3=0.1 [ppm] 以下
海岸地区における潮風・・・海岸より2km以上の地区 (プールサイドの場合は上記塩素ガスCl2基準値以下)
※海岸より2km未満、プールサイドの場合は昇降路内に潮風、プール方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトとすること
②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵
③爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、ブタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉
- エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと
電磁波の電界強度が10V/m以下の環境とすること
- (1) 原則、昇降路の設置場所は標高1000m以下の高さとする
(2) 屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備により外部から風雨が侵入しないこと (ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防漏板等)
- センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、屋外又は、屋内ガラス越しから乗場及び駆動・制御装置 (制御盤、秤装置等) に直射日光が当たらない対策を実施のこと
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないようにすること
(建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号)
- 遮断器はインターホンを回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと

エレベーターの工事使用に係る件

- エレベーターを工事に使用される場合は、別途契約が必要です

工事関連事項

- 現場検査立会は、【完了検査】【引渡 (施主) 検査】の2回と致します
- 乗場先行工事、多段階着工、他設備工事立会等、標準施工手順と異なる施工は本工事には含まれません
- 施工写真撮影は本工事には含まれません

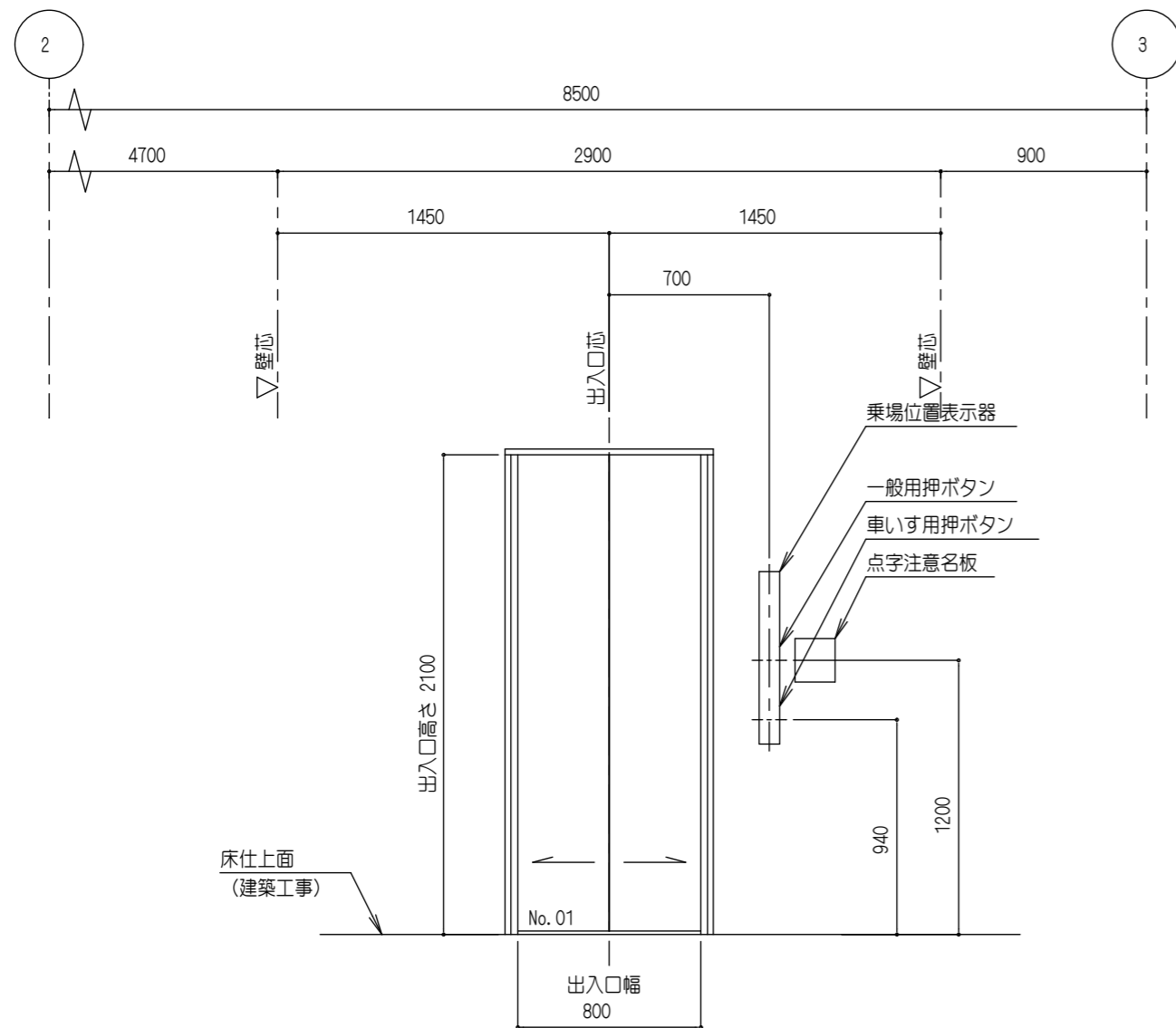
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること (個人宅など占有部を経由しないこと)
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
(1) エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
(2) エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する (エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要)
(3) エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 乗場壁へフレタム吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工する必要があります。乗場機器取付け前にフレタム吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
昇降路内は不燃材もしくは難燃材 (平12建告1402号で定められた材料又は国土交通大臣の認定を受けたもの) とする必要があります
※法定のオーバーヘッド寸法確保やドア装置取付に支障が無いが、施工範囲と厚みを昇降機担当へ連絡し問題ないことを確認ください
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策 (建築工事) を行うこと、風圧により乗場の戸が開まらない恐れがあります
製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います
電動機 (巻上機・駆動機) : JEC-2110, 2130, JIS C-4034-1
制御盤: JEM1021, 1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です
- かごの内装デザイン等が別途工事の場合、品質保証 (変色、はがれ、劣化等の外観変化) 対象外となります
また、昇降機保守対象外となります材質、構造等は以下を順守のこと
材質: 不燃又は難燃認定品
構造: 装飾品 (鏡等含む) には、エレベーター非常止め作動時または地震衝撃突時は4G (縦方向)、地震時は1G (横方向) 相当の加速度が発生する可能性があるためそれに耐え、かつ接着固定による変化を考慮した取付構造とすること
照度: かごの床面で50ルクス (乗用、待合用以外) なくては25ルクス) 以上の照度とすること
建築用途と使用環境の違いにより、早期に寿命を迎えることがあります
・かご照明の自動停止機能により、照明のON/OFF回数が多い
・かごの昇降による振動がある
- 施工作業時間条件: 月曜日~土曜日 8:00~17:00
尚、施工作業期間内「4週6休」就労をさせていただきます

エレベーター仕様要項

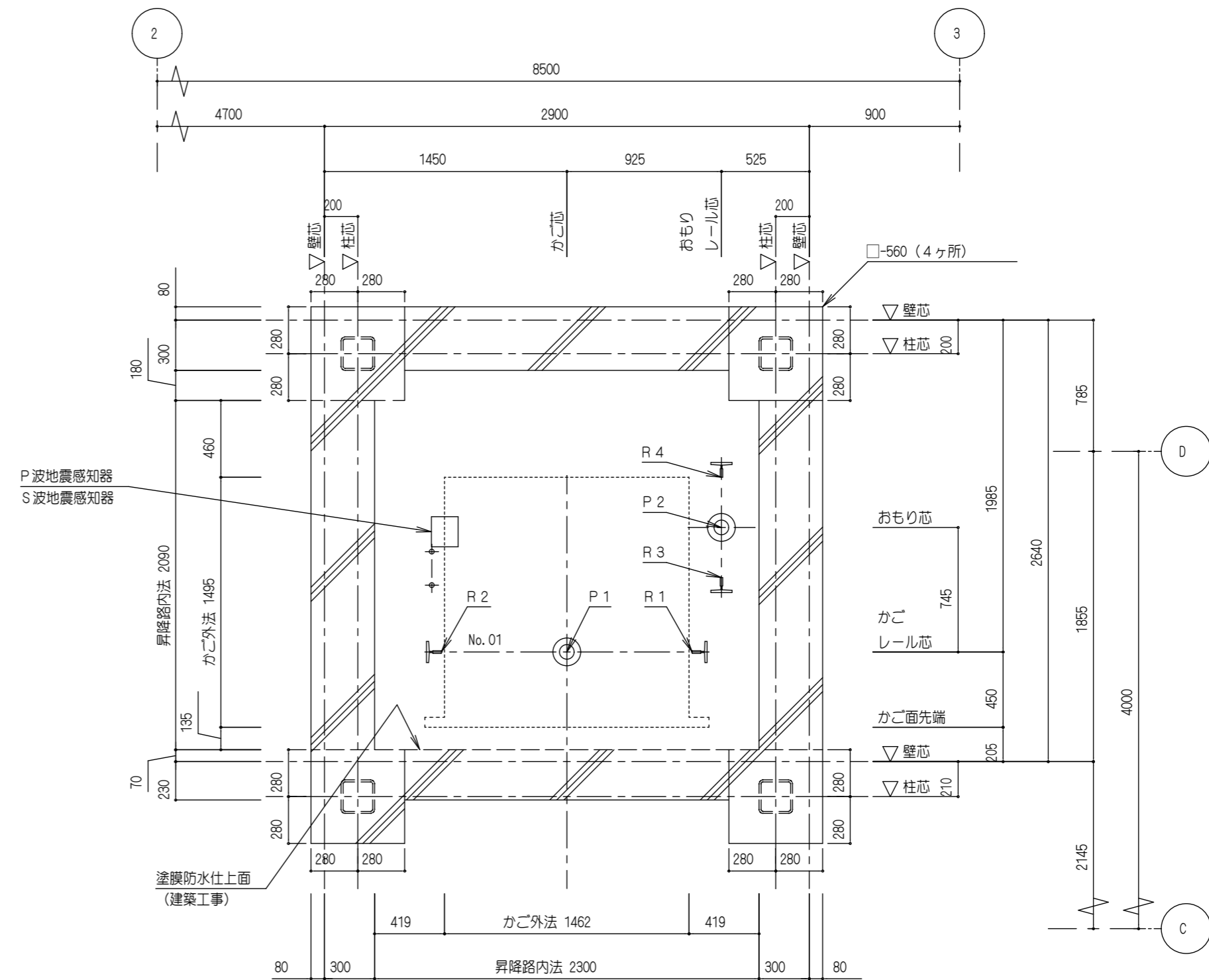
分類	仕様項目	01号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御 (回生なし)
	操作方式	乗合全自動方式 (1C-2BC)
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	45m/min
	戸開方式	2枚戸両引き (CO)
	出入口幅	800mm
	出入口高さ	2100mm
その他仕様	かご室サイズ (内法開口 AA)	1400mm
	かご室サイズ (内法奥行 BB)	1350mm
	かご室内法高さ	2300mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	3停止 (1-3階)
	動力用電源	AC3φ-210V-60Hz
	照明用電源	AC1φ-100V-60Hz
	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	公共建築工事標準仕様 適用年版	令和4年版
	敷居間隔	10mm
乗場仕様	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	乗場視覚障がい者用注意名板 (追加分)	3枚
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定 (普通級)
	停電時自動着床装置	あり
	かご呼び取消機能	あり
	乗場三方枠	大枠末広幕板なし 351mm~600mm ステンレスヘアライン (1-3階)
	乗場戸	鋼板塗装 (メーカー標準色) (1-3階)
	乗場敷居	アルミ製 (1-3階)
	乗場インジケータ	一体セグメントLED (橙色) ステンレスヘアライン (1-3階)
かご仕様	乗場インジケータ	ステンレスクリックボタン (φ33・凸文字・黄橙色LED) (1-3階)
	乗場インジ運行表示灯1	休止表示
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン一体形 ステンレスヘアライン (1-3階)
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン (φ33・凸文字・黄橙色LED) (1-3階)
	乗場休止スイッチ	あり
	乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ箱込
	天井	スタンダード: フラット (白色) 天井面材: 鋼板塗装 (メーカー標準色)
	正面壁	化粧鋼板
	側面壁	化粧鋼板
	袖壁材質	ステンレスヘアライン
その他仕様	出入口上板	化粧鋼板
	かご室戸	化粧鋼板
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル2mm (メーカー標準タイル)
	かご敷居	アルミ製 2枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン (φ33・凸文字・黄橙色LED)
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ (10.1インチ)
かご操作盤液晶インジケータ表示言語	2ヵ国語表示 (日本語、英語)	
車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン	
車いす専用正かご操作盤インジケータタイプ	ドットLED (橙色)	
車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン (φ33・凸文字・黄橙色LED)	
車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり	
かご室換気	ファン	
かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付 (両側面)	
かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト (巾500)	
キックプレート	板厚2.0ステンレスヘアライン (ピスなし) 高さ: 床面より350mm	
壁保護幕	磁石式 (保護幕高さ標準: 床面より上端まで1895mm)	
床保護マット	あり	
擦まれ防止ドアセンサ	あり	
セーフティシュー	片側 (多光輪ドアセンサー付き)	
遮煙機能	大臣認定品 2枚戸両引き用 (1-3階)	
点字名板取付方法	接着	
インターホン呼び出しボタン応答灯 (聴覚障がい者対応仕様)	あり	
おもり非常止め	なし	
火災時管制運転方式	火報信号連動式	
インターホン型式	6V1局	
かご内アナウンス	かご内音声合成アナウンス	
かご室スピーカー	あり	
高調波対策種類	DCリアクトル (Ki=1.8)	
フェッシャープレート	エレベーター手配 (標準品) (2-3階)	
レール支持方式	1フロア1ブラケット	
煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付 【標準】	
搬重ビーム手配	建築手配	
仮設動力電源	1式	

参考図 【原図A2】

■: NOTE	<p style="text-align: center;">NISSHIN SEKKEI 目新設計株式会社</p> <p style="text-align: center;">三重県知事登録第1-518号</p>	Job Title	津市立育生小学校長寿命化改修工事	DATE	2023
		Drawing Title	エレベーター詳細図01	SCALE	No. Scale
		設計担当	多湖 弘樹	E V - 0 1	
			一級建築士 第382361号		



乗場正面図 (1/30)
(1~3階)



昇降路平面図 (1/30)
(ピット)

注：ピット周囲立上りコンクリート梁は1FL~1FL-100の間まで打ち増しとする（建築工事）

レール下端部荷重（長期荷重）			
R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)
3.6	23.4	43.4	19.8

ピット荷重（短期荷重）	
P1 (kN)	P2 (kN)
75.2	63.5

ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階FL面まで立ち上げのこと。（建築工事）

図面は塗膜防水仕上の有効寸法です。モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮のこと。

昇降路機器はピット底面・側面、梁・壁（コンクリートの場合）にあと施工アンカーにより取付を行います

乗場遮煙ドア設置上の条件

- 乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。
- 自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合は、乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。（無電圧a接点、接点電圧DC24V）

EVI[®] 7認定番号: CAS-0519

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。管理人室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要がある。（建築基準法施行令第129条の10第3項第三号）

もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。

- インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。
- 管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
- 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。

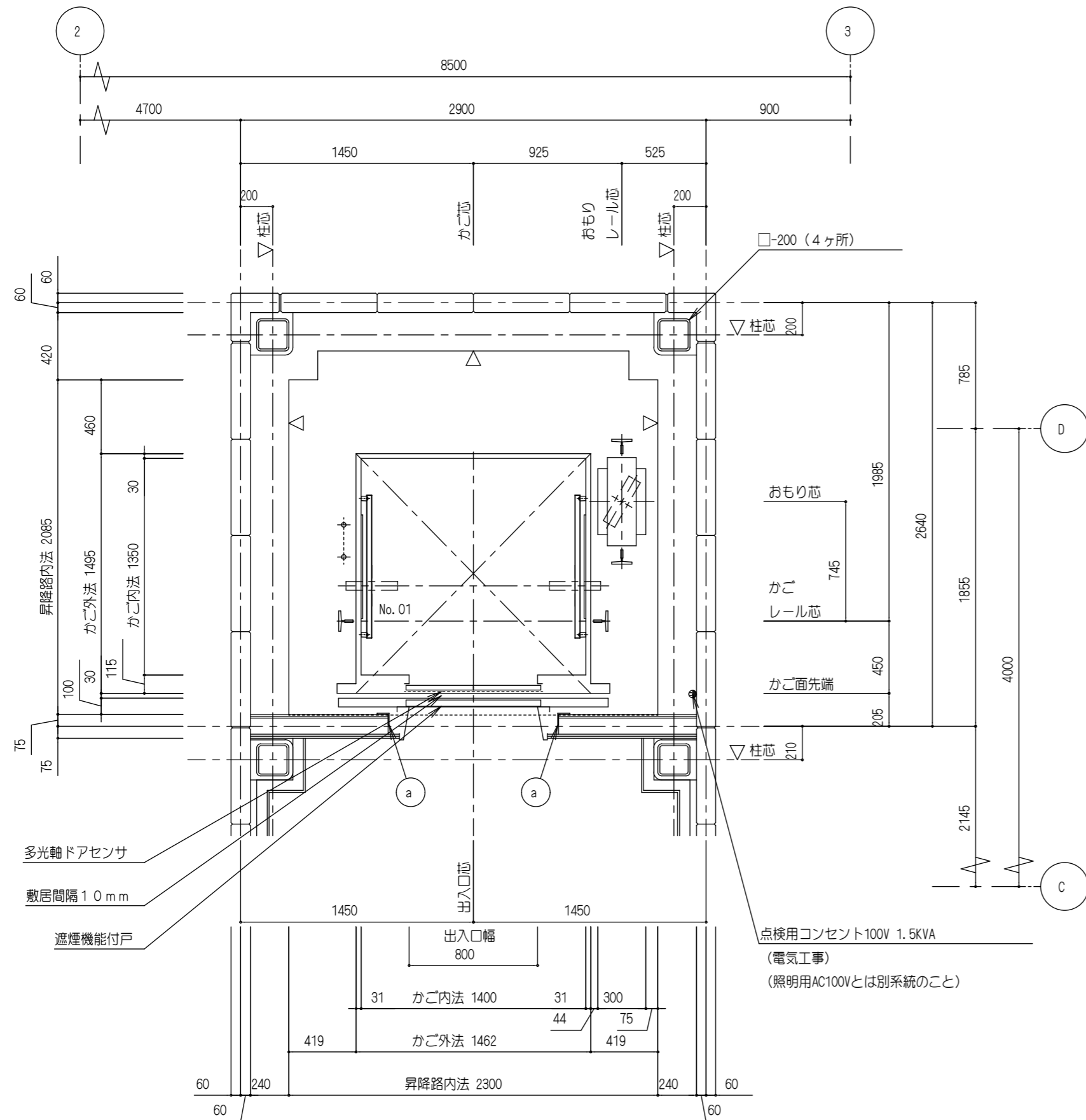
例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉鎖する。

参考図 [原図A2]

■ : NOTE

**NISSHIN
SEKKEI**
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

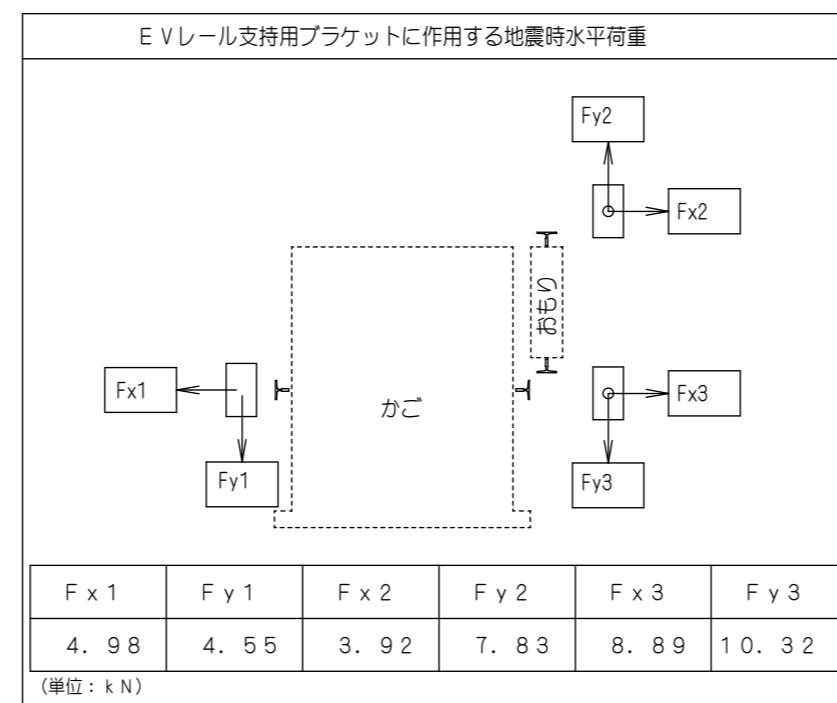
Job Title	津市立育生小学校長寿命化改修工事	DATE	2023
Drawing Title	EVI [®] -7詳細図02	SCALE	A2:1/30 A3:1/42
多湖 弘樹	設計担当	E V - 0 2	
一級建築士 第382361号			



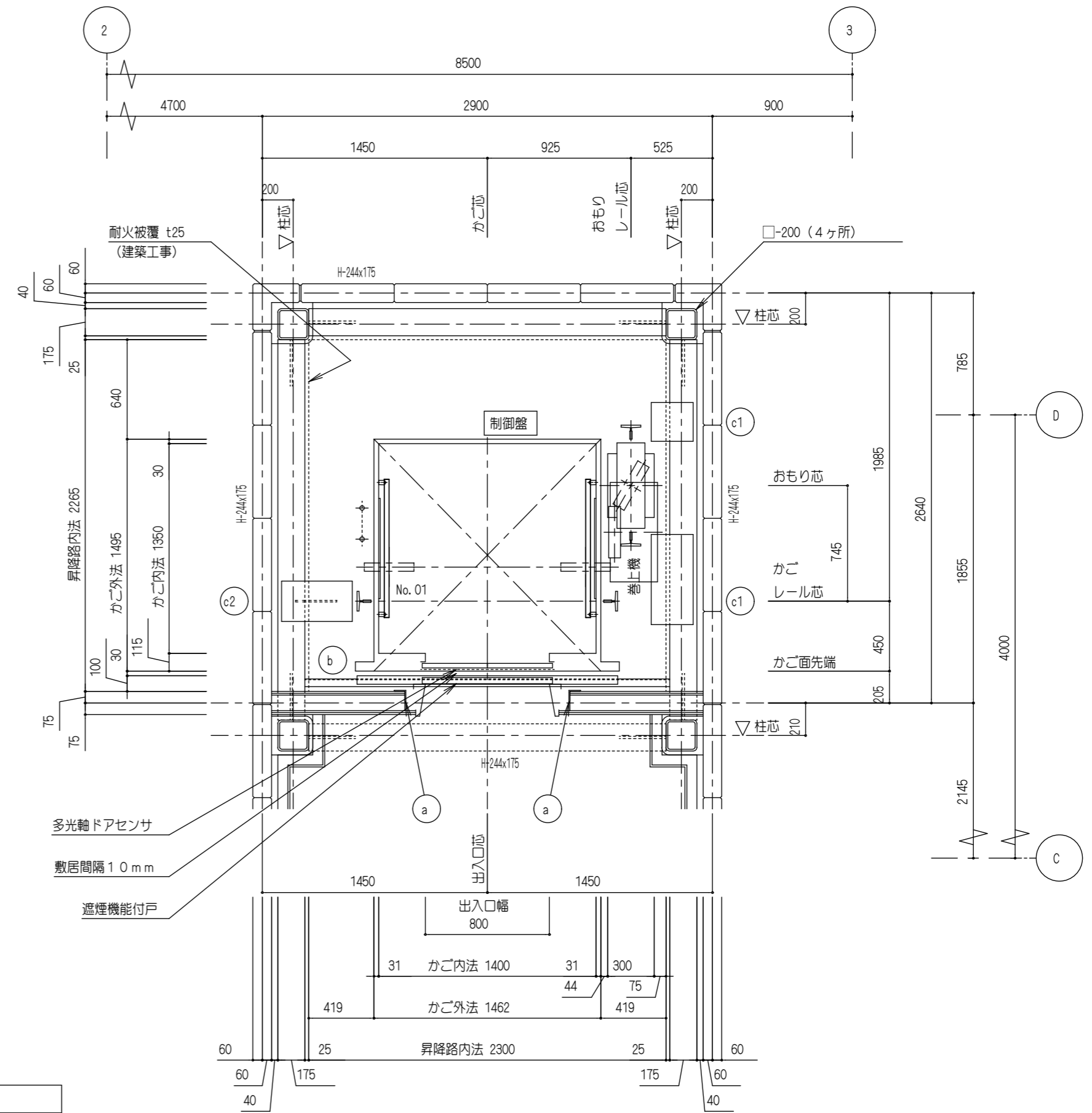
昇降路平面図 (1/30)
(1階)

注：▽印は、ビットコンクリート側面を示す

部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75x75x6	建築工事
b	敷居受用鋼材	[-100x50x5x7.5	建築工事
c1	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	建築工事
c2	レールブラケット取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事



注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。



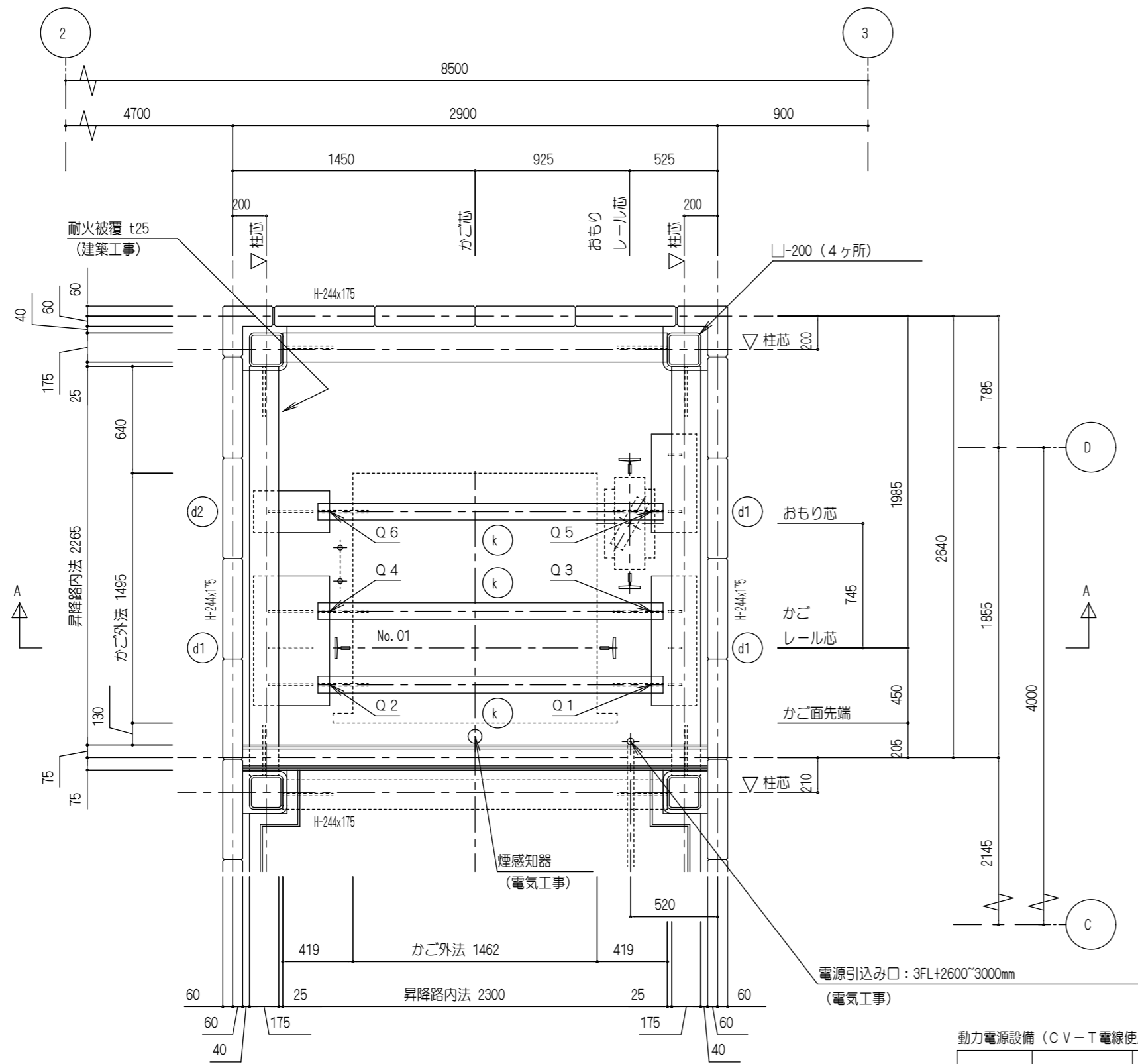
昇降路平面図 (1/30)
(2, 3階)

参考図

[原図A2]

■ : NOTE	NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号	Job Title	津市立育生小学校長寿命化改修工事	DATE	2023
		Drawing Title	1/A-カ-詳細図03	SCALE	A2:1/30 A3:1/42
		多湖 弘樹	設計担当		
		一級建築士 第382361号			

EV-03



昇降路平面図 (1/30)

(揚重ビーム (k) 下面=3FL+3326)

Q1 (kN)	Q2 (kN)	Q3 (kN)	Q4 (kN)	Q5 (kN)	Q6 (kN)
6.0	2.0	8.0	10.0	16.0	11.0

Q1~Q6はE V据付時に作用する

部材記号	名称	部材	工事区分
d1	レールブラケット取付用ファスナー兼揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
d2	揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム	H-100x100x6x8	建築工事

動力電源設備 (C V-T 電線使用時)

号機名	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 動作時間 (*)	電線サイズ	接地線サイズ
01	3.8 kW	4 kVA	40 AT	100 mA以上 0.2秒以上	82 mまで 8 mm ² 142 mまで 14 mm ² 216 mまで 22 mm ²	3.5 mm ²

(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

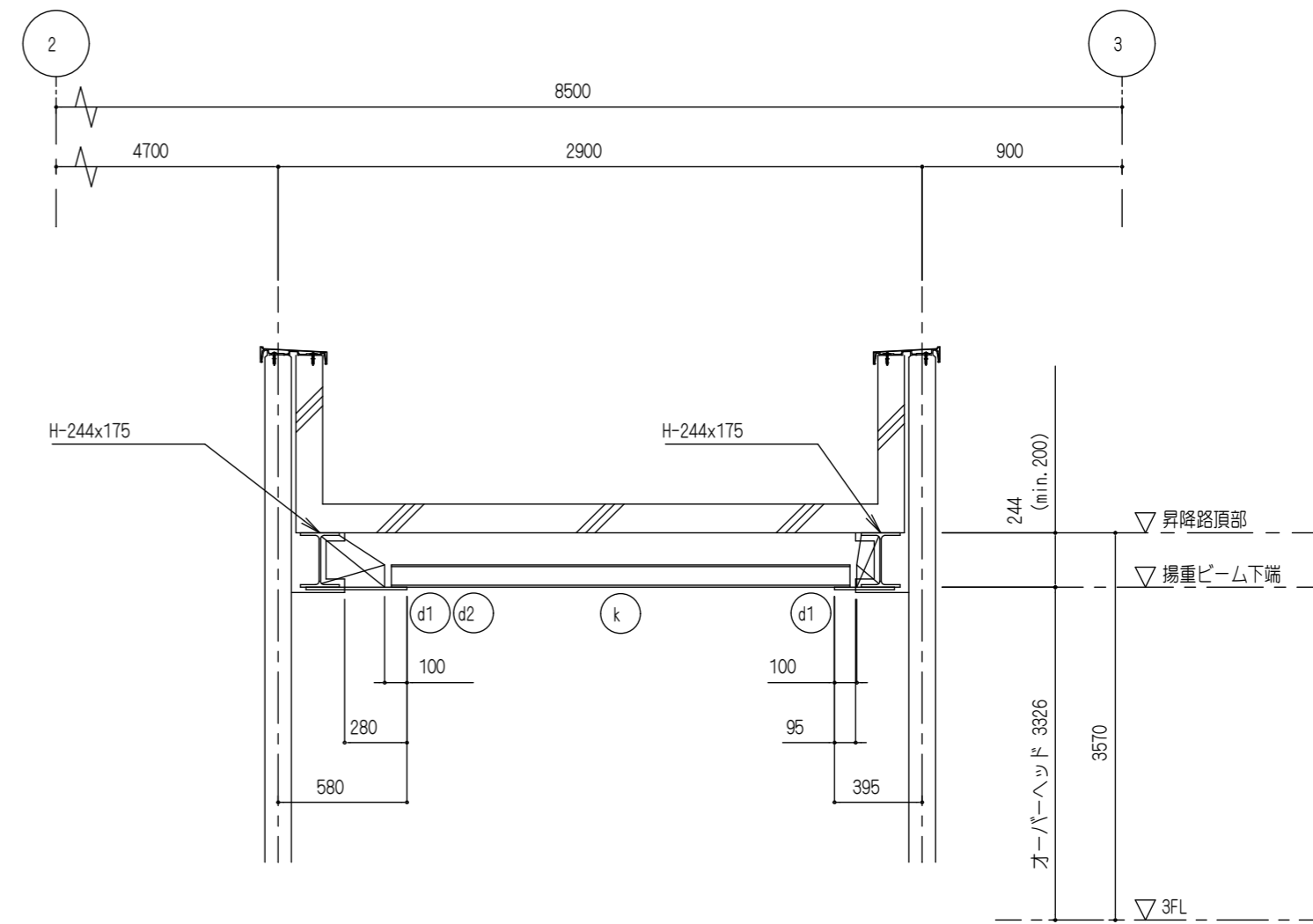
高調波対策 (高調波流出電流計算値)

高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P _i (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス 換算係数 (K _i)	6パルス等価 容量 [K _i x P _i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I _n (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	01号機 (750kg-45m/min)	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
DCリアクトル追加 (K _i =1.8相当)					33	1.8	8.6	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限值を定めており、超過する場合には何らかの対策が求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^{-3} \times \sum U+0007 \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$



昇降路頂部断面図 (1/30)

断面 A-A

注：ファスナー (d1) (d2) は同一レベル (水平) に取付のこと。

注：揚重ビーム (k) は両サイド同一レベル (水平) に取付のこと。

電源引込み口 (3FL+2600~3000mm)

動力用AC 3Φ	210 V- 60 Hz
照明用AC 1Φ	100 V- 60 Hz-1kW (単独回路 NF-20AT)
D種接地線	
外部インターホン用配管配線・・・CPEV 0.9mm x 5P (Φ25)	
遠隔監視用配管配線・・・PVC 0.65mm x 4C (Φ19)	
火災時管制運転用無電圧 a 接点の支給	
かご室スピーカ用配管配線・・・HP1.2mm x 3C (Φ19)	
電源線引出し長さ	10000 mm
制御盤迄の引込み、つなぎ込み工事 (電気工事)	

参考図

[原図A2]

■: NOTE

**NISSHIN
SEKKEI**
目新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

Job Title	津市立育生小学校長寿命化改修工事
Drawing Title	エレベーター詳細図04
設計担当	多湖 弘樹
	一級建築士 第382361号

DATE	2023
SCALE	A2:1/30 A3:1/42
E V - 0 4	

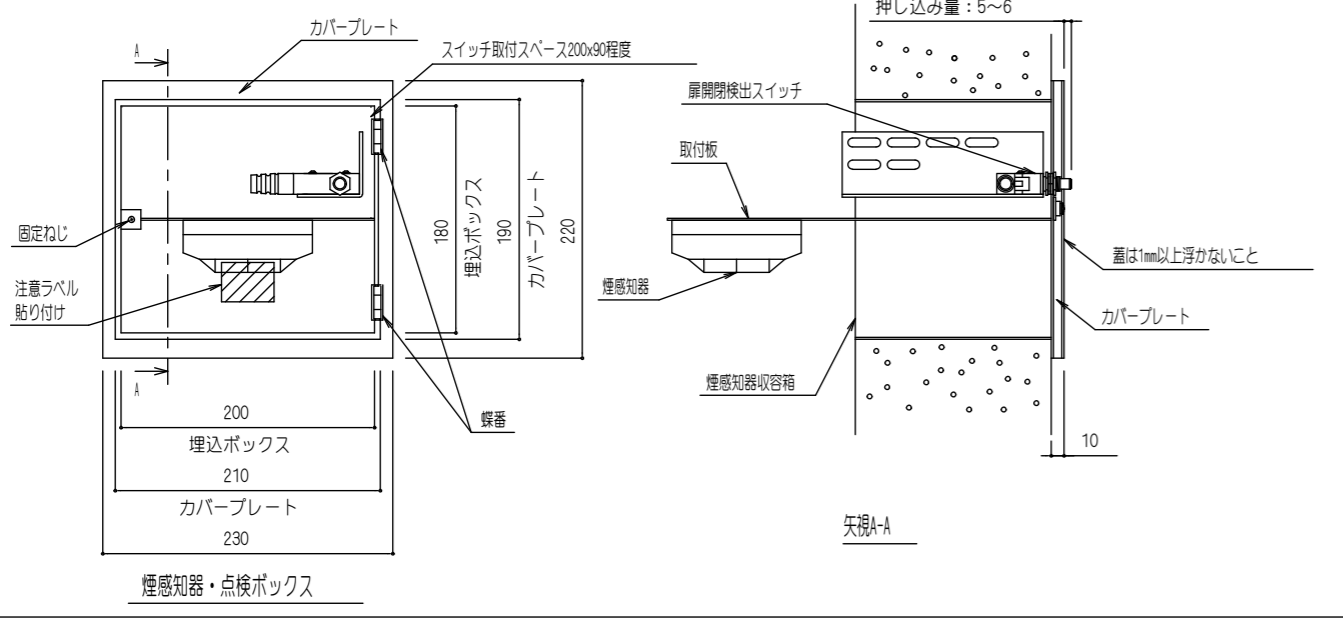
煙感知器施工例

煙感知器 (電気工事)
 ・外部より点検可能な構造として下さい。
 ・雨水浸入が無い様配慮下さい。
 ・E V 連動スイッチ付 (E V 工事)

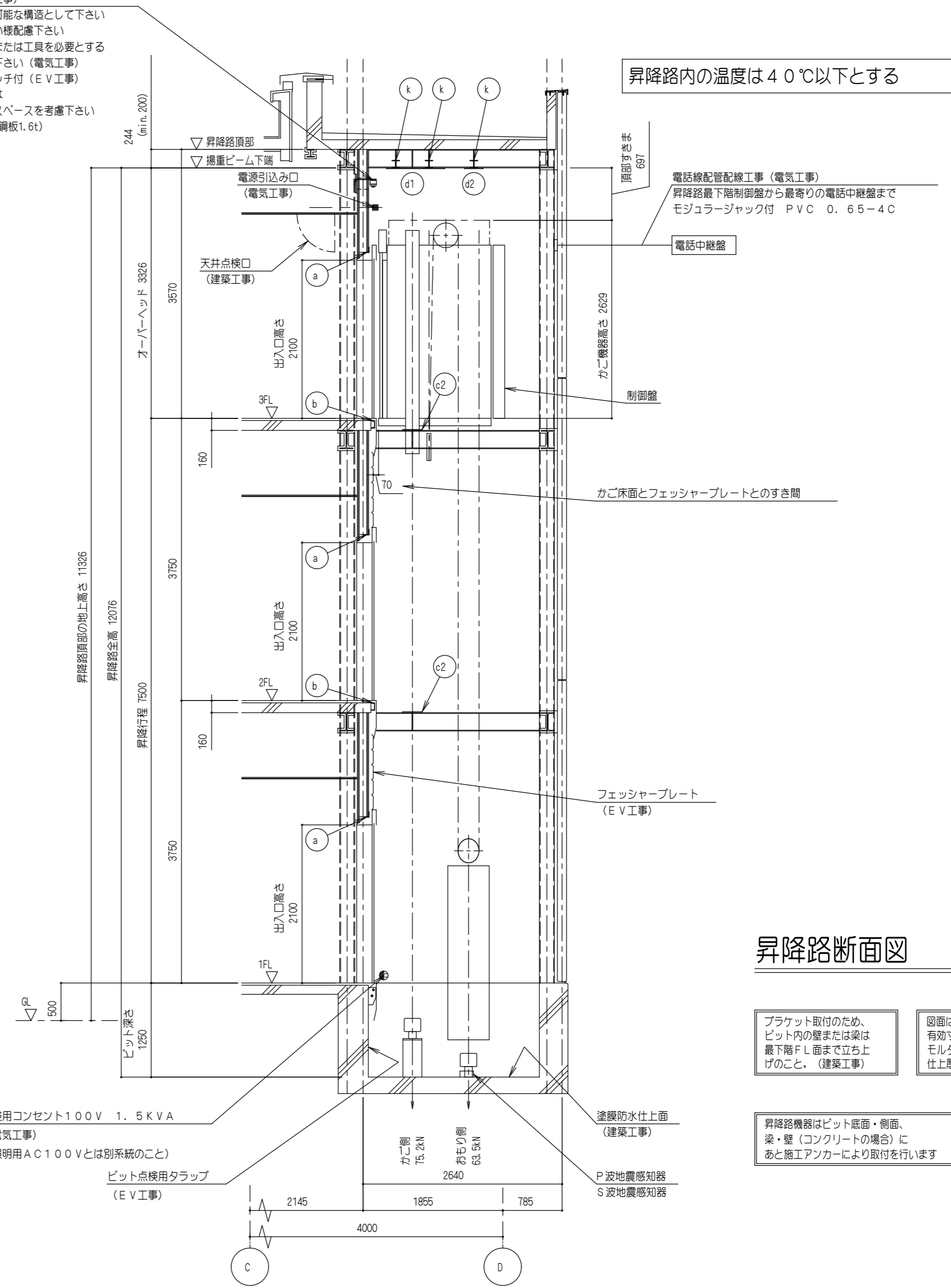
・点検口は下記 ① または ② として下さい。

- ① EV昇降路専用品 (スイッチ取付台座付き) (1) ~ (4) のいずれか
 (1) ホーチキ KUS-1B
 (2) 能美防災 FXSJ001A-HU
 (3) ニッタン NID-T-G
 (4) パナソニック BV95351 (BOX) + BV95381H (圓)

② 以下2項目を満足する点検口 ~ 下図「煙感知器・点検ボックス (参考例)」参照
 (1) スイッチ取付スペース 20x90 程度
 (2) 錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、1mm以上浮かぬこと。



煙感知器 (電気工事)
 ・外部より点検可能な構造として下さい
 ・雨水浸入が無い様配慮下さい
 ・点検口は錠付または工具を必要とするネジ付として下さい (電気工事)
 ・E V 連動スイッチ付 (E V 工事)
 ・点検口サイズはスイッチ取付スペースを考慮下さい (300□以内、鋼板1.6t)



昇降路断面図 (1/50)

ブラケット取付のため、ビット内の壁または梁は最下階F.L.面まで立ち上げのこと。(建築工事)
 図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮のこと。

昇降路機器はビット底面・側面、梁・壁 (コンクリートの場合) にあと施工アンカーにより取付を行います

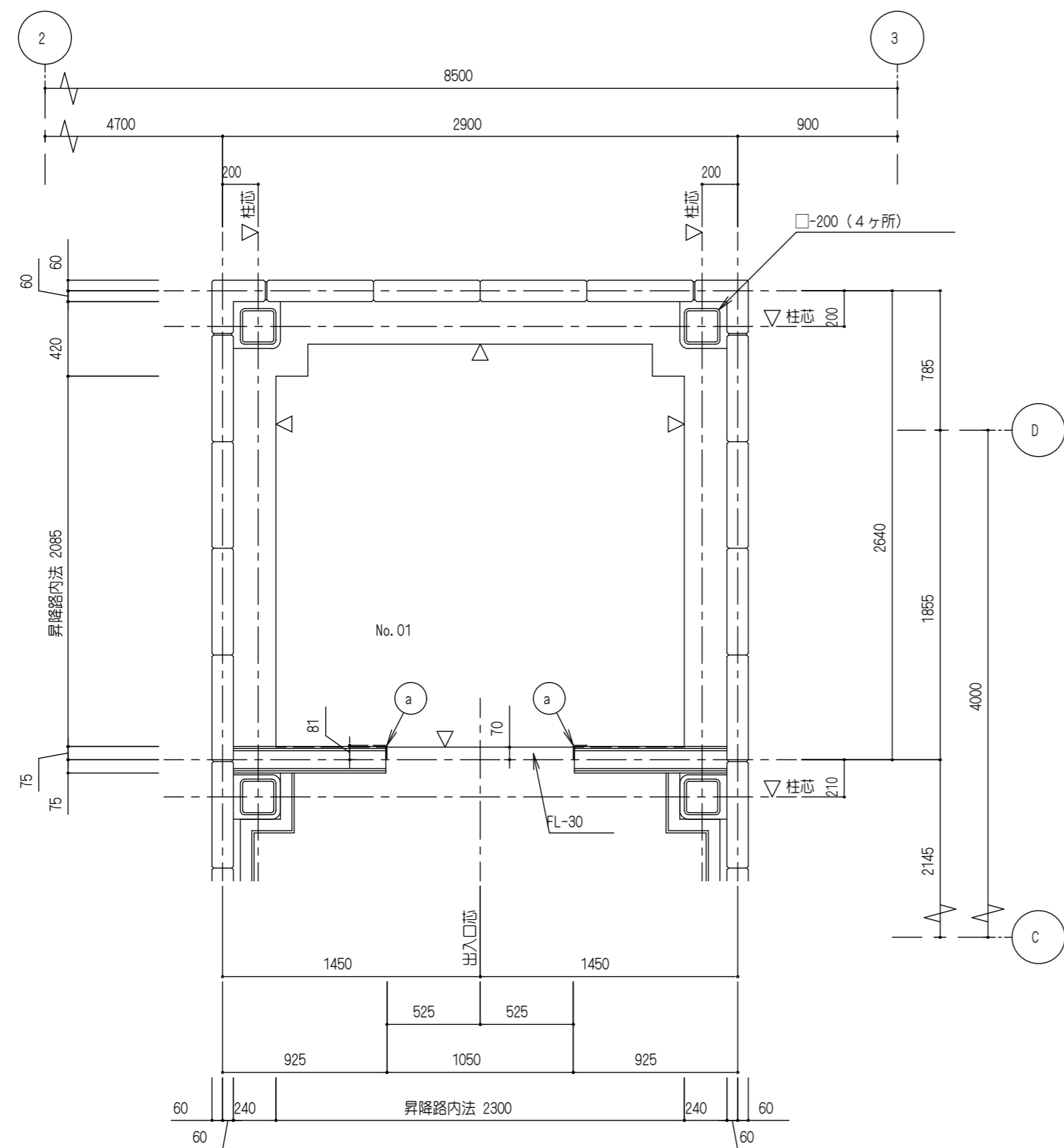
部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75x75x6	建築工事
b	敷居受用鋼材	[-100x50x5x7.5	建築工事
c2	レールブラケット取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
d1	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
d2	揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム	H-100x100x6x8	建築工事

■ : NOTE

NISSHIN
 SEKKEI
 日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号

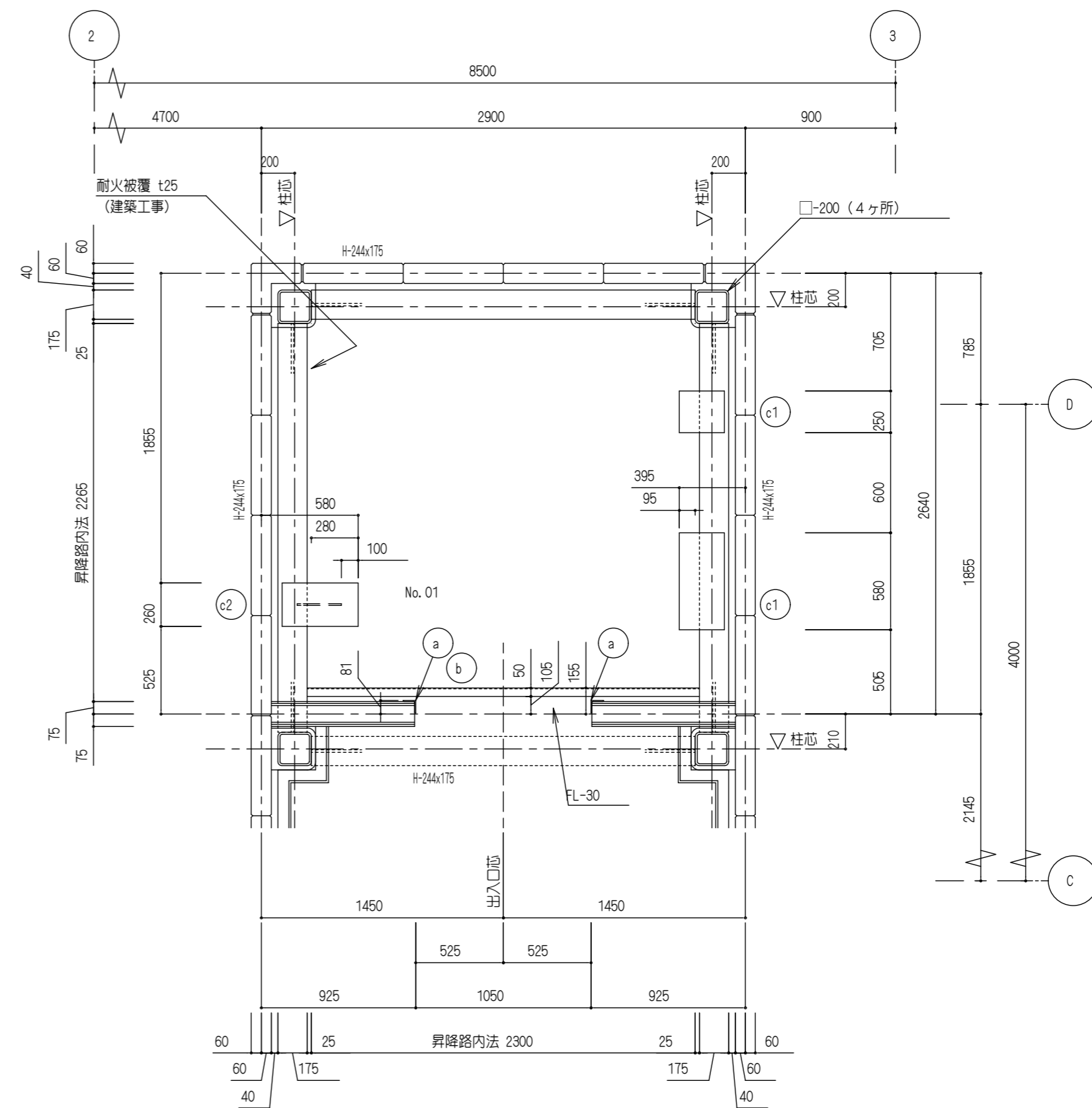
Job Title 津市立育生小学校校長寿命化改修工事
 Drawing Title Ⅱ/A-7-詳細図05
 多湖 弘樹
 一級建築士 第382361号

参考図 [原図A2]
 DATE 2023
 SCALE A2:1/30 A3:1/42
 EV-05



昇降路穴あけ図 (1/30)
(1階)

注：▽印は、ビットコンクリート側面を示す



昇降路穴あけ図 (1/30)
(2, 3階)

部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75x75x6	建築工事
b	敷居受用鋼材	[-100x50x5x7.5	建築工事
c1	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	建築工事
c2	レールブラケット取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事

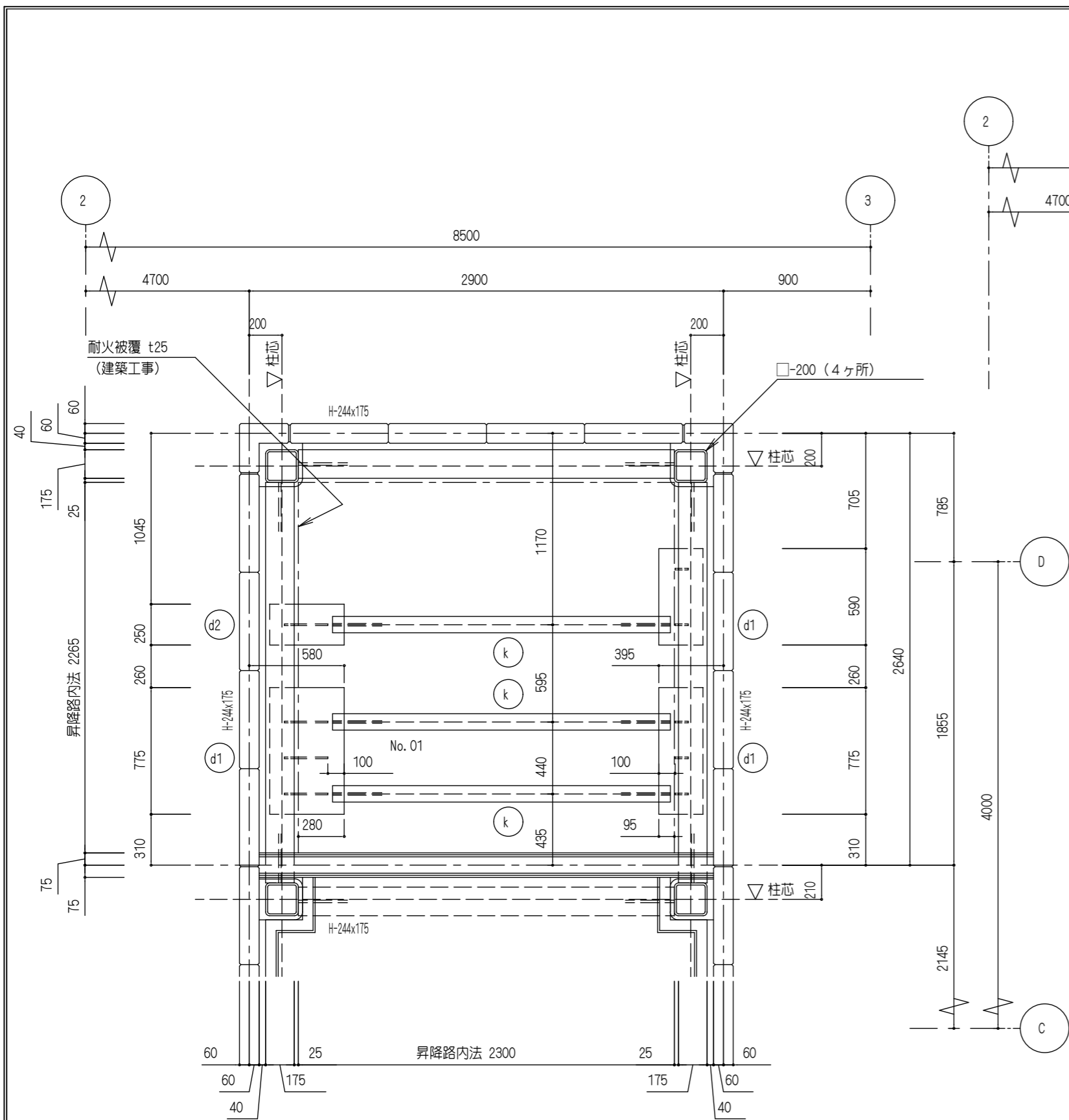
参考図 [原図A2]

■ : NOTE

NISSHIN
SEKKEI
目新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

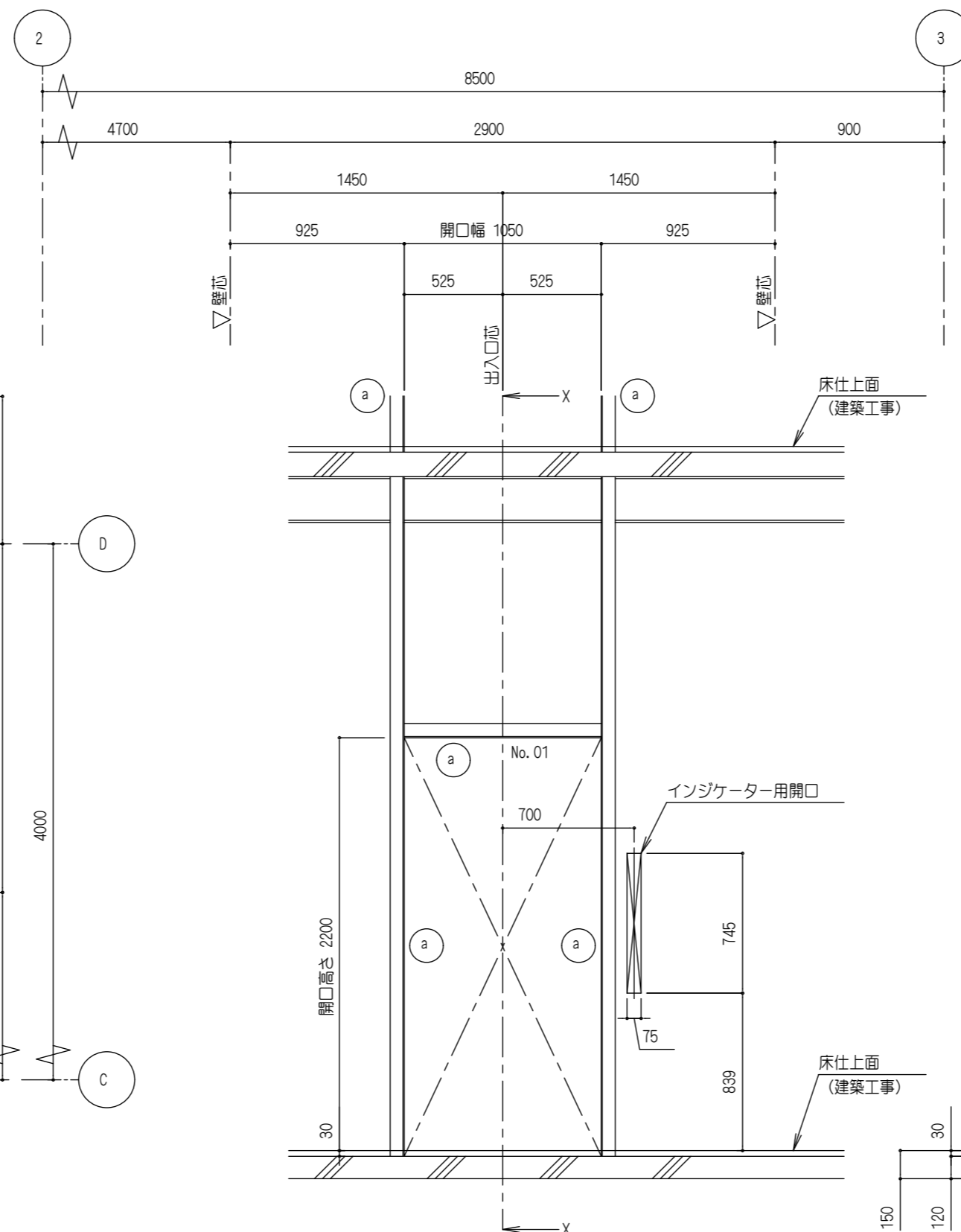
Job Title	津市立育生小学校長寿命化改修工事
Drawing Title	1/A-カ-詳細図06
多湖 弘樹	設計担当
一級建築士 第382361号	

DATE	2023
SCALE	A2:1/30 A3:1/42
E V - 0 6	



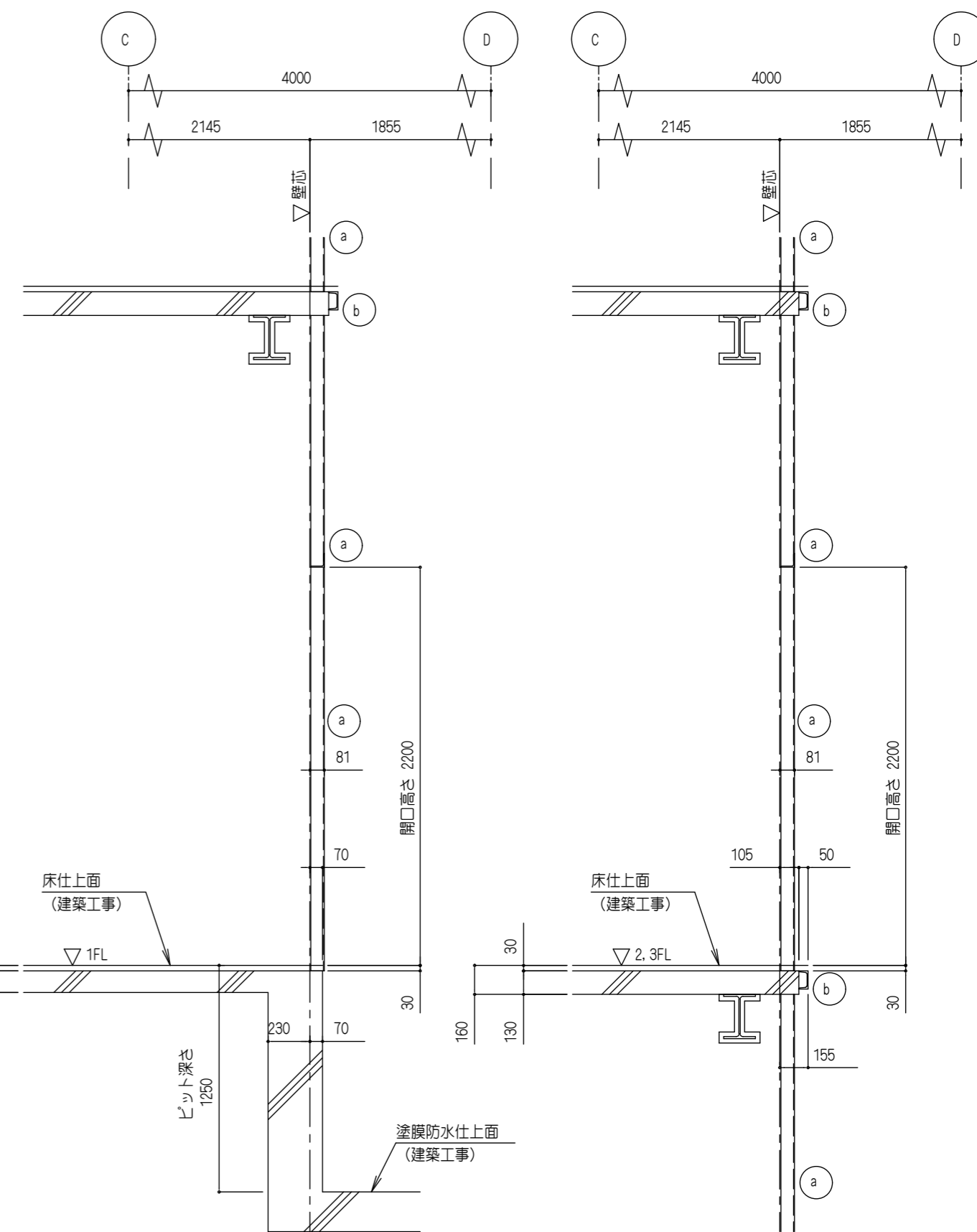
昇降路穴あけ図 (1/30)

(揚重ビーム (k) 下面=3FL+3326)



乗場穴あけ図 (1/30)

(1~3階)



X-X断面 (1階用)

X-X断面 (2,3階用)

部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75x75x6	建築工事
b	敷居受用鋼材	[-100x50x5x7.5	建築工事
d1	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
d2	揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム	H-100x100x6x8	建築工事

参考図

[原図A2]

■ : NOTE

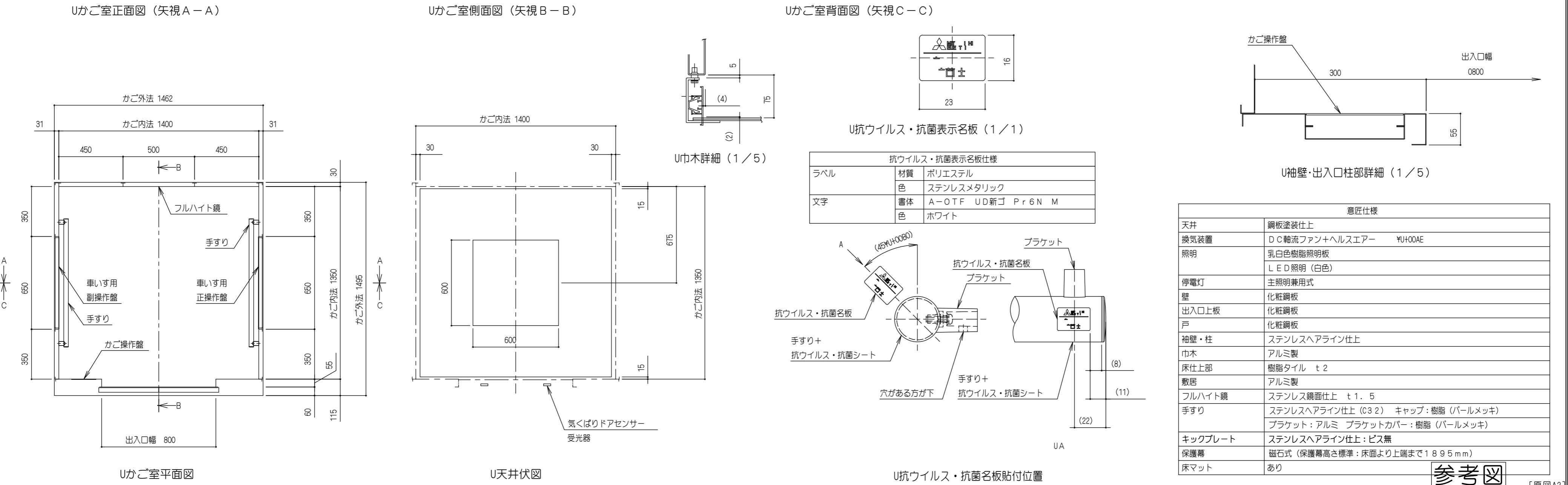
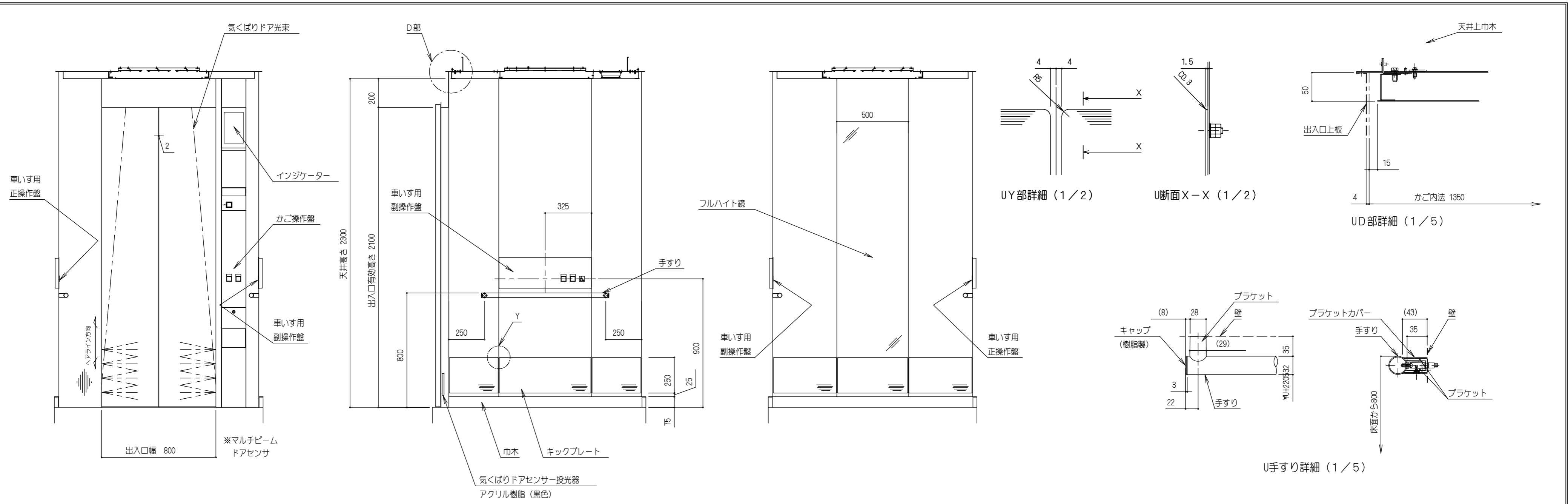
NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

Job Title 津市立育生小学校長寿命化改修工事
Drawing Title 1/A-9-詳細図07
多湖 弘樹
一級建築士 第382361号

設計担当

DATE 2023
SCALE A2:1/30 A3:1/42

E V - 0 7



抗ウイルス・抗菌表示名板仕様		
ラベル	材質	ポリエステル
	色	ステンレスメタリック
文字	書体	A-OTF UD新ゴ Pr 6N M
	色	ホワイト

意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
換気装置	D C 軸流ファン+ヘルスエアー ユH00AE
照明	乳白色樹脂照明板 LED照明 (白色)
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル t2
敷居	アルミ製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上 t1.5
手すり	ステンレスヘアライン仕上 (C32) キャップ: 樹脂 (パールメッキ) ブラケット: アルミ ブラケットカバー: 樹脂 (パールメッキ)
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上: ビス無
保護幕	磁石式 (保護幕高さ標準: 床面より上端まで1895mm)
床マット	あり

参考図 [原図A2]

■: NOTE

NISSHIN
SEKKEI
目新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

Job Title 津市立育生小学校長寿命化改修工事
Drawing Title Uカゴ室詳細図08
多湖 弘樹 設計担当
一級建築士 第382361号

DATE 2023
SCALE A2:1/20 A3:1/28
EV-08